

(1)地域づくり活動の支援に関する施策

①新たな活動を生み、育む

□多様な情報を提供します

■さまざまな地域資源に関する情報を多様な媒体を活用して提供します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成17年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H17事業費 (千円)	担当課
ひょうごインターキャンパスの運営	県内の生涯学習関係機関の連携のもと、総合的な学習機会の提供や個人個人の学習計画づくりなどを支援するため、インターネットを活用した生涯学習情報ネットワークシステム「ひょうごインターキャンパス」を運営する。(神戸県民局神戸生活創造センター生涯学習情報プラザ)	参画機関 440団体(市町合併後の影響で減少)	・参画機関数の増加の呼びかけ ・情報発信数の増加の呼びかけ	8,631	県民政策部 生活創造課
生涯学習情報プラザの運営	県内の学習機関の連携のもとで、県民への学習情報の提供や学習相談などのアドバイス機能のほか、学習グループや学習指導者の育成機能などの全県的な学習支援拠点機能を有する「生涯学習情報プラザ」を運営する。	・県内の生涯学習機関と連携し、生涯学習アドバイザーが学習情報の提供、プランニングなどのアドバイスを実施 ・相談ニーズを踏まえ、学習情報・アドバイスの知識、方法・技術をマニュアル化した「生涯学習支援ハンドブッカー基礎編」を発行	・生涯学習機関のさらなるネットワーク化と連携強化	11,012	県民政策部 生活創造課
地域づくり活動登録制度の運用	「資料編－1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			－	県民政策部 参画協働課
ひょうごボランティア活動支援ナビの運営	行政・民間の支援機関・中間支援NPO、企業等が実施している地域づくり活動支援施策・事業に関する情報と、NPO、ボランティアグループ、地域団体等による地域づくり活動支援の募集に関する情報を集約し、分野別・地域別に整理の上、インターネットで広く提供する「ひょうごボランティア活動支援ナビ」の機能を、地域づくり活動情報システム「コラボネット」に加えて運用する。	・活動支援ナビ 稼働支援情報 272件 募集情報 126件 ・携帯サイトからの情報発信	・募集や支援活動の登録・利用の促進	2,101	県民政策部 参画協働課
中小企業支援センター事業の実施	創業から経営革新まで中小企業者の多様な経営課題を解決するため、(財)ひょうご産業活性化センターを中小企業支援法に基づく中小企業支援センターとして指定し、知識・人材・情報等のソフトな経営資源をワンストップで提供する。	窓口相談:3,456件	一層の広報による利用の促進	113,349	産業労働部 経営支援課
外国人県民安全・安心ネットの推進	外国人県民が安全で安心して生活できる環境づくりを進めるため、多言語による情報提供や日本語学習の支援、外国人県民相談を充実する。	NGOとの協働による外国人県民相談活動の充実 ・相談件数:267件	・外国人県民からの幅広い意見聴取ときめ細やかな相談の充実	25,849	産業労働部 国際政策課
農のゼロエミッションの推進	農山漁村等における資源の有効利用と循環型社会の構築をめざすため、食品廃棄物や農産物残さ、間伐材、もみ殻等を有機性資源(バイオマス)としてとらえ、たい肥・肥料などのリサイクル利用や、メタン発酵などのエネルギー利用等について、県、市町、民間事業者、NPO、農林漁業者、県民等が連携して推進する。	・県民局等における相談窓口活動の実施 件数:26件 ・「農」のゼロエミッション推進大会の開催 県民等参加者:200人 ・「ひょうごバイオマスecoモデル登録制度」の創設 H17登録:10事例	具体的なバイオマス利活用取り組みの周知・PR等を通じた取り組みの普及・拡大を図るとともに、リサイクル製品の利用拡大や廃棄物の削減、分別の徹底などの意識啓発を、県、市町、民間事業者、NPO、農林漁業者、県民等が役割を分担しつつ連携して推進	4,312	農林水産部 消費流通担当課長(18消費流通課)

神戸地域防犯活動の支援	安全・安心なまちづくりを目指して、特色ある防犯活動を実施している団体の活動内容をまとめた防犯活動事例集を作成し、県内都市部の自主防災組織を中心に配布するとともに、三宮北部地域において、県・市・警察、地域団体の協調のもと、「三宮クリーン作戦」を実施した。	・三宮クリーン作戦 500人(100人×5回)	・関係機関が引き続き協力をして、「地域防犯」の機運の醸成に努める	108	神戸県民局 企画県民部 さわやか県政・連携担当 参事
神戸ツーリズム資源情報の発信	ツーリズム志向の高まりを受け、地域ツーリズム情報の収集・集積、情報発信のためのホームページ作成により地域のツーリズム資源の把握と情報発信を行う。	・HPへのアクセス数を把握するため、アクセスカウンターを設置し、トップページのイラストに神戸空港を挿入	・観光施設や開催イベントなどコンテンツを充実	21	神戸県民局 地域振興部 産業労働担当 参事
阪神芸術文化サポータークラブ(芸術文化活動に関する情報提供・交換の場)の運営	サポーター(無料登録会員)から、イベント等の情報を収集するとともに、ホームページやメールマガジンでそれらの情報を発信していく。	平成16年度末で617人のサポーターの参画を得て、情報の収集発信を実施。	積極的なサポーター登録のPRによるサポーター数の拡大、情報発信の呼びかけ強化による情報発信の拡充	1,355	阪神南県民局 企画調整部 地域魅力づくり担当 参事
地域de情報ゲット事業～地域 de お届け～ in 阪神北	県民運動情報を登録団体・企業に提供する(原則月1回)。また、県民運動情報だけでなく地域や企業が発信する地域に役立つ情報を積極的に取り上げるとともに、県民運動に関するアンケートを同封するなど、各種の行事に参加できない県民の意見を取り上げていく。	配布状況 ・配布先数:80件 ・啓発グッズ等種類数:112 ・配布数:36,826枚	・協働団体、企業先の新たな開拓 ・地域から求められる情報は多種多様であり、情報提供の内容、方法を検討	486	阪神北県民局 県民生活部 県民担当 参事
地域de情報ゲット事業～ポスト de ゲット～ in 特定郵便局	管内等(西宮市北部含む)に76ある特定郵便局、普通局5局の計81局を通じて啓発グッズやイベント情報などを提供する。また、県民局からは管内の情勢、特定郵便局からは地域に密着した情報を相互に交換・共有する。	配布状況 ・設置個所数:81カ所 ・啓発グッズ等種類数:102 ・配布数:41,310枚	・地域から求められる情報は多種多様であり、情報提供の内容、方法を検討	438	阪神北県民局 県民生活部 県民担当 参事
地域de情報ゲット事業～タクシー de ゲット～ in 阪神北	県民運動をさらに地域に浸透させるため、県民への県政情報等の新たな提供窓口として、管内最大手である阪急タクシー(株)の協働を得て、地域の老若男女が利用するタクシーの車内等において、啓発グッズ・県政情報チラシを提供し、少しでも多くの人に県からの情報を役立ててもらい、地域課題に取り組む機運を醸成する。	配布状況 ・設置個所数:8カ所 ・啓発グッズ等種類数:96 ・訪問営業所:1カ所 ・配布数:3,344枚 ・タクシー台数:272台	・他のタクシー会社への協働の働きかけ ・地域から求められる情報は多種多様であり、情報提供の内容、方法を検討 ・地域情報をつなぐ中心的役割の移行(県民局から地域の団体・NPO等へ)の検討	91	阪神北県民局 県民生活部 県民担当 参事
地域de情報ゲット事業～ファックス de ゲット～ in 阪神北	登録された地域の個人・団体や機関に、A4版2枚程度の情報をファックスにより提供する(原則月1回)。また、登録先が主催する公益性の高い事業情報等についても掲載する。	配信状況 ・登録人数:609人 ・配信数:7,230枚	・協働団体、個人の新たな開拓 ・地域から求められる情報は多種多様であり、情報提供の内容、方法を検討	386	阪神北県民局 県民生活部 県民担当 参事

地域de情報ゲット事業～ネットdeゲット～in阪神北	インターネットを利用して、老若男女を問わずさまざまな年齢層に県民局からリアルタイムで情報を提供し、県民が家庭等で居ながらにして様々な情報を入手、または、ニーズや意見などを発信することができる双方向による事業を展開する。	配信状況 ・月1回 ・年12回更新	・地域から求められる情報は多種多様であり、情報提供の内容、方法を検討	300	阪神北県民局 県民生活部 県民担当 参事
北播磨交流キャンペーン戦略	北播磨地域ならではの魅力情報をメディア関係者に積極的に提供し、テレビ、ラジオ等の媒体を活用して、地域情報を広域に発信する。	・北播磨の見どころを紹介するため、「ホットニュース北播磨」を毎月発行し、報道関係者等多方面に配布した。 ・地域の各種イベントの映像をNHKに提供し、発信した。	・提供する情報の充実 ・情報を提供先(メディア関係者)の拡大	2,246	北播磨県民局 企画調整部 企画調整 担当 参事

■情報を集めた場を確保し、県民が必要な情報を入手しやすいしくみを整えます

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況(平成17年度)	参画と協働の課題と今後の取り組み方向	H17事業費(千円)	担当課
「ユニバーサル社会づくり」情報発信事業	ユニバーサル社会づくりを推進するため、理念の普及や実践活動の展開に向けての先導的な情報発信を行う。	・情報誌「ユニバーサルひょうご」を創刊(8月創刊、11月、2月に発刊 総部数:15,000部) ・ホームページ「ユニバーサルひょうご」を開設(H17.8.10)	・県民の率先した取り組みの推進に向けて、ユニバーサル社会づくりの理念の普及に向けた現行の情報発信事業を継続的に進めていく。	6,413	健康生活部 ユニバーサル社会担当 課長(⑩ユニバーサル課)
多自然居住推進事業(多自然居住支援サイトの運用)	都市住民による多自然居住の実現と、多自然居住地域の市町・活動団体等の効率的な情報発信に資するため、県内の多自然居住を希望する都市住民が田舎暮らしに必要なあらゆる情報を効率的に入手できるサイトを開設・運営する。	作成にあたっては、市町、県民局、田舎暮らし体験者、活動団体から情報を収集。	・サイトの内容の更新を今後も継続して行う。	1,995	県土整備部 都市政策課
電腦サイト「丹波なんでも情報室」開設事業	丹波県民局では、緑条例見直し等に合わせて地域空間データの収集を進めてきた。IT環境を活用して、ネット上に強力な情報集積・発信機能を持つプラットフォームを開設することで地域の創造力を活性化し、丹波らしい地域空間づくりや都市との交流事業を展開する。	NPOが主体となり、掲載データを拡充・整備。航空写真画像データの作成。	インターネット上に地理情報を基本とした情報集積・発信プラットフォームを構築することにより、コミュニケーションによる地域活性化を促進	17,017	丹波県民局 県土整備部 森のまちづくり 担当 参事

■相談に対応するとともに、広く県民からの提案を受け付けるしくみをつくります

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況(平成17年度)	参画と協働の課題と今後の取り組み方向	H17事業費(千円)	担当課
地域づくり活動サポーターの設置(サポーターズネットの構築)	地域社会の共同利益の実現をめざす、県民の様々な地域づくり活動を効果的に支援するため、県民の身近なアドバイザーとして、また、グループ・団体・NPOなど多様な「民」の主体の「つなぎ役」として、さらには、県民局域で活動する各種推進員の連携の推進役として、地域づくり活動サポーターを設置する。	・県下10地域において、サポーターズネットの立ち上げとなる関係機関相互の顔合わせができた。	・サポーターズネットを構成する他の専門員が持っている(地域づくり活動を助成するための)情報の共有化	38,230	県民政策部 参画協働課

NPO専門相談窓口の設置	NPO等が活動する過程において生じる法律や会計・財務などの実務的な諸問題についての専門相談窓口をひょうごボランティアプラザに設置する。	弁護士会、公認会計士会の会員が専門相談を実施 ・相談件数 14件 ・相談日数 7日	・一層の制度周知	580	県民政策部 参画協働課
--------------	---	---	----------	-----	----------------

□実践活動につながる学習機会を充実します

■学びたいことを主体的に選択できる学習機会を提供します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成17年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H17事業費 (千円)	担当課
生涯学習支援ネットワーク推進事業	第5期生涯学習審議会の提言(H15.7「兵庫県における包括的な生涯学習システム」)を具体化するため、生涯学習システムづくりを推進する仕組みとなる生涯学習支援ネットワークを進める。	・生涯学習支援ネットワーク交流会議の開催 約130名 ・生涯学習支援者養成研修会の開催 3回 延べ約90名	・生涯学習機関のさらなるネットワーク化と連携強化	(プラザ運営経費内)	県民政策部 生活創造課
生涯学習情報プラザの運営(再掲)		—			県民政策部 生活創造課
生活創造活動プランナー養成講座の開設	新しい文化や地域コミュニティづくりなどの生活創造活動につながる実践力や企画力を身につけた地域のキーパーソン(プランナー)を養成することをめざした講座を開設する。	プランナー養成のための講座の開催 ・県下6地区 ・受講者:131名	・県民プランナーが学習成果を活用して地域づくりに向けた実践活動に参画していくための方法を工夫する。	4,406	県民政策部 生活創造課
地域創造市民塾の展開	生活創造センターや文化会館等、地域の生活創造活動・生涯学習の拠点において、豊かな地域の創造等に係るテーマで、県民自らが企画し、運営する講座の開設を支援する。	・全講座数:130講座 ・受講者:7,010人 ・支援内容: 講師団の派遣、開設場所の提供等	・講座運営方法の改善	3,500	県民政策部 生活創造課
生活創造大学の開設	県民のQOL(クオリティ・オブ・ライフ)の更なる向上と、新しいライフスタイルの創造を支援するため、生活創造活動につながる多様な学習機会を提供する。	実施箇所 12カ所 受講者数 587名	・講座を修了した方が学びの成果を生かして地域づくりなどに参画するための支援策の検討	5,564	県民政策部 生活創造課
地域高齢者大学の運営	地域活動の実践者を養成するための学習機会の提供を行い、高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進するため、地域4年制高齢者大学を運営する。	実施箇所 5カ所 受講者数 1,314名	・大学を修了した高齢者が学びの成果を生かして地域づくりなどに参画するためのプログラムの検討	7,128	県民政策部 生活創造課
いなみ野学園の運営	地域活動の指導者や実践者を養成するための学習機会の提供を行い、高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進するため、いなみ野学園を運営する。	・地域活動指導者養成講座 受講者:299人 ・4年制大学講座 受講者:1,827人 ・放送大学講座 受講者:3,215人	・大学を修了した高齢者が学びの成果を生かして地域づくりなどに参画するための支援策の検討	79,917	県民政策部 生活創造課
阪神シニアカレッジの運営	地域活動の実践者を養成するための学習機会の提供を行い、高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進するため、阪神シニアカレッジを運営する。	・4年制大学講座 受講者数:628人	・大学を修了した高齢者が学びの成果を生かして地域づくりなどに参画するためのプログラムの検討	62,116	県民政策部 生活創造課

高齢者大学地域活動実践講座の開設	4年制高齢者大学での学びの成果を社会参加活動につなげることを目的に高齢者大学に「地域活動実践講座(2年制)」を開設する。	・実施個所:6カ所 ・受講者:309人	・講座を修了した高齢者の地域づくりなどに参画するためのプログラムを検討	8,920	県民政策部 生活創造課
ひょうご人づくり未来セミナー	青少年育成県民運動の推進の中核である兵庫県青少年本部において、家庭教育に関する幅広い分野の専門家を登録し、自主的に活動する子育てグループの要請に応じて派遣し、若い父親・母親の子育てを支援する。事業を通して地域ぐるみで子育てに取り組んでいく機運の醸成や実践活動の展開を促進する。	・人づくり未来セミナーの開催 講師派遣90回	ひきこもり等青少年の心の問題を扱う「ひょうごユースケアネット」事業との連携・補完を行い、複雑多様化する青少年問題に対応するため、青少年の心の問題や子育て支援に総合的に取り組む。	3,000	県民政策部 青少年課
ひょうご県民交流の船	県民が希望に満ちた船内生活や活気あふれる団体生活を通して、相互理解と自己啓発に努める場とする。	・青少年、県民が事業に参加し、国際交流活動等を実施 ・企画運営に青少年が参画	より多様な世代の県民が参加できるよう、参加費用を軽減し、船内活動や陸上活動についても魅力的な内容になるよう検討を行う。	9,045	県民政策部 青少年課
兵庫県青年洋上大学	青少年が外国(中華人民共和国)を訪問し、現地の人々と交流することを通じて相互理解、友好親善を促進するとともに、青年リーダーの養成を図る。	・青少年、県民が事業に参加し、国際交流活動等を実施 ・企画運営に青少年が参画	ひょうご県民交流の船参加者との三世代交流や他県の青年たちとの交流を図るとともに、訪問地(中国)では、ホームステイや現地の大学生との交流を図り、企業や史跡の視察を通じて国際感覚を養う。	13,522	県民政策部 青少年課
NPO大学推進事業の実施(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
「男女協働市民講師」の養成	地域で男女共同参画を草の根的に推進するために、講座や学習会等で講師として活躍できる人材を養成する。	・神戸、姫路、社の3会場 で3日間の講座を実施 ・64名受講、うち55名講師登録	・登録講師数の増加 ・市民講師の活動の場の拡大	1,231	県民政策部 男女家庭課
大学連携ひょうご講座の開設	県内4年制全大学等と県が連携し、さまざまな分野におけるアカデミックで、専門的な大学教育レベルの講座を広く提供し、県民の生涯学習の一層の充実を図る大学連携「ひょうご講座」を開設する。	講座の開催 ・開催数:31科目 ・受講者:1,083名	・18年度以降財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構の独自事業として実施	14,786	企画管理部 教育課
ひょうごオープンカレッジの開設	高度化・多様化する生涯学習ニーズにこたえるため、県と県内の大学が共同して、大学キャンパスをまるごと体験し、充実したスタッフや設備で体系的な学習ができる社会人向け専門講座「ひょうごオープンカレッジ」を開設する。	講座の開催 ・開催数:8大学8コース(各5回) ・受講者:228名	・18年度以降財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構の独自事業として実施	3,143	企画管理部 教育課

兵庫県立大学 生涯学習交流センター事業	大学固有の専門的教育資源の活用に関し、社会人の生涯教育や高度な教養教育等、県民の多様な生涯学習ニーズにこたえるため、その企画立案、学内の総合調整及びその推進を担う組織として「生涯学習交流センター」を設置し、大学の教育機能を幅広く県民に開放し地域に貢献する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開講座の実施(4講座、受講者128名)</li> <li>・特別公開講座の実施(2講座、81名)</li> <li>・国際セミナーの実施(1講座、143名)</li> <li>・生涯学習セミナー(1講座、19名)</li> </ul>	ニーズを把握し魅力あるテーマを設定することにより、さらなる県民の生涯学習の充実に寄与する。PR活動や講座の開催日の検討等を推し進めていく。	4,431	企画管理部 大学課
県立広域防災センターの運営	防災に関する体系的かつ実践的な研修、防災意識の普及啓発、消防職員及び消防団員の教育訓練等を行うことにより、県民の参画と協働による災害に強い安全で安心な地域づくりを支援するとともに、災害時における広域的な救助の拠点としての機能を果たすため、兵庫県立広域防災センターを整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター視察者数 33,142人</li> <li>・体験型学習(消火器取扱体験、地震体験、火災発生体験等)参加者数 70,533人</li> <li>・防災リーダー講座受講者131人</li> <li>・消防職員の教育訓練 20回、受講者976人</li> <li>・消防団員等の教育訓練 27回、受講者2,151人</li> </ul>	地域の防災力を高めるための人材育成が課題であり、県民の参画と協働による災害に強い安全で安心な地域づくりを支援するため引き続き訓練等を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に関する体系的かつ実践的な研修</li> <li>・防災意識の普及啓発</li> <li>・消防職員及び消防団員の教育訓練等</li> </ul>	241,983	企画管理部 災害対策課、消防課
「ユニバーサル社会づくり」出前講座の実施	県民が地域や職場で、ユニバーサル社会づくりの考え方を理解するための学習の場づくりを支援するため、ユニバーサル社会づくりリーダー養成講座修了者のほか、ユニバーサル社会づくりの推進に専門的な知見を有する人材を登録・派遣して出前講座を行う。	・講座実施回数:109回	更に多くの団体等に制度を活用してもらうため、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の積極的なPR</li> <li>・各分野の講師の充実</li> <li>・選びやすいメニューの作成</li> </ul> などについて、取り組んでいく。	580	健康生活部 ユニバーサル社会担当課長(⑩ユニバーサル課)
「ユニバーサル社会づくり」地域実践活動セミナー開催事業	ユニバーサル社会づくりの理念の総合的・体系的な啓発と普及を図るため、「ひと」「もの」「情報」「まち」「参加」の各分野におけるユニバーサル社会づくりの進め方や具体的な実践活動に関する提案を行うセミナーを県民局毎に開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各県民局で1回開催(合計10回開催)</li> <li>・総参加者数:2,016人</li> </ul>	県民の参画と協働による各地域独自のユニバーサル社会づくりを進めていくため、 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の積極的なPR</li> <li>・各地域の実情に応じたセミナー内容の検討</li> </ul> などについて、県民局と合同で取り組む。	2,500	健康生活部 ユニバーサル社会担当課長(⑩ユニバーサル課)
エコツーリズムバス運行支援事業	県民に環境関連施設での学習機会や貴重な自然環境等に触れる機会を提供するため、バスを利用し、環境学習・体験を行う団体・グループに対し、借り上げバスに要する費用の一部を助成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民自らが学ぶ機会の創出。</li> <li>・子供会、婦人会、自治会、環境NPOなどの団体及びグループを対象として、バス借上費用の1/2以内を助成。(188台)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間の環境学習施設等の情報提供</li> <li>・自然観察指導員等の協力によるガイドの実施</li> <li>・アンケートを通じた県民ニーズの把握・環境政策への反映</li> <li>・これまでに利用のない新たな団体等の利用拡大</li> </ul>	9,425	健康生活部 環境政策課(⑩環境学習課)
ひょうご環境学校事業の推進	多くの県民が環境学習に参加する機会を提供するため、体験型環境学習のモデル事業を実施するとともに、ホームページやコーディネーターによる情報提供等による実施主体への支援を行い、多様な環境学習を推進する。	・NPO、地域団体、県民の参画により各地で先導モデル事業を実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人、地域団体、事業者等各実施主体との連携</li> <li>・中核交流拠点の整備</li> </ul>	18,446	健康生活部 環境政策課(⑩環境学習課)

青少年科学技術体験学習支援事業	兵庫県科学技術会議からの提言を踏まえ、企業や研究機関、大学等を科学技術学習の場として活用し、青少年を対象に当該施設を活用した体験学習等を実施する。	高校生を対象とした科学技術体験学習の実施 ・実施数：12回	・科学技術体験学習の県内全域での実施	1,000	産業労働部 科学振興担当課長(⑱) 科学振興課)
県土を学ぼうキッズプロジェクトの推進	学校教育における「総合的な学習の時間」等を活用し、自分たちの住む町の河川、道路、港湾などの社会基盤がどのように日常生活に役立っているかを体験しながら理解・学習し、次代の社会基盤のあり方を考え、ひいては「地域を思いやる気持ち」を育むことをねらいとして、「県土を学ぼう！キッズプロジェクト」を実施する。	・モデル校を設けての実践 (14校) ・年次発表会の開催 (参加者965名)	・活動の拡大・推進	10,000	県土整備部 技術企画担当課長(⑱) 技術企画課、各県民局
いきいき仕事塾の開設	被災地域に住む、または住んでいた55歳以上の方々を対象に、被災各地域において、生きがいづくりや仲間づくりにつながる知識等を習得するための各種講座を開設する。	各種講座の開設 ・いきいき仕事塾受講者：477人 ・過去の講座修了生のネットワーク化、会員605人	・高齢者がボランティアを始めとする自主的な活動を行い、積極的に社会参加していけるような意識の醸成ときっかけづくり	11,950	県土整備部 復興推進課 (⑱復興支援課)
高等学校地域オープン講座の開設	各高等学校で開設する「学校設定教科・科目」等のうち、学校の特色となる講座、地域に根ざし地域住民に関心の高い講座について、地域住民の参加を呼びかけ、高校生とともに学ぶ場を提供し、地域に開かれた学校づくりを推進するとともに、高校生が地域の人たちと学習活動を通じて触れ合うことで、生涯にわたって学び続ける力を育成する。	・ユニット講座(通年にわたり、学校の時程表に合わせて週2時間程度ともに学ぶ) 実施校数10校 ・ユニーク講座(短期間において、特に学校が公開する授業についてともに学ぶ) 実施校数13校  ・17年度からユニーク講座で、陶芸教室、写真教室、中国事情などを新たに開設し、より魅力ある講座の開設に努めた。	魅力ある講座の開設に努め、地域住民の受け入れを促進	1,186	教育委員会 高校教育課
コミュニティカレッジの開設	高等学校等の施設を県民に開放し、社会人としての幅広い教養を高めるための講座等を開設する。	・講座開設 34講座 ・開催地 県内34校(県立24校・市立3校・私立7校) ・参加者数 1,049人	多様化・高度化する県民の学習ニーズに対応した講座を開設し、地域住民の受入を促進	1,622	教育委員会 社会教育課
歴史文化遺産活用活性化事業の実施	歴史遺産を活かしたまちづくりの推進のため、ヘリテージマネージャーを養成するとともに、ヘリテージマネージャーとの協働による近代化遺産(建造物等)総合調査を実施する。	・養成講習会(建造物部門)(第5期)を開催 受講生30名 ・養成講習会(天然記念物部門)(第3期)を開催 受講生15名 ・近代化遺産総合調査の第3次調査の実施	・建造物・天然記念物以外分野への拡大 ・建造物部門については、対象を一般へ拡大 ・建造物分野において、修了者を対象とした専門的・実務的な講習会の開催	2,900	教育委員会 文化財室

県立考古博物館(仮称)先行ソフト事業の実施	平成19年秋の開館を目指し、遺跡と出土品を素材とした新しいスタイルの参加体験型博物館として、加古郡播磨町の播磨大中国古代の村隣接地に「県立考古博物館(仮称)」を整備する。整備にあたっては、体験学習や発掘調査など博物館の事業を、県民との協働により推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民参加により播磨町大中遺跡の発掘調査を実施</li> <li>・県民と協働で体験学習プログラムを開発</li> <li>・地域文化財展・先行展の運営に県民が参加</li> <li>・播磨大中国古代の村入場者数 98,000人</li> <li>・考古楽者養成事業受講者数 25人</li> <li>・考古博物館先行展入場者数 15,000人</li> <li>・地域文化財展入場者数 3,500人</li> <li>・建築工事・展示工事</li> <li>・大中遺跡環境整備工事</li> </ul>	・ネットワーク型博物館として県下全域で活動するために、各地域と連携した人材育成を進める。	332,015	教育委員会文化財室(⑩考古博物館開設準備室)
「土砂災害防災学習マニュアル」(仮称)の作成	表六甲地域土砂災害危険個所での豪雨時において、自主的防災活動に取り組む地域住民に対し、地域の危険性の正確な把握や各種防災情報への理解力を高める学習マニュアルを作成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂災害学習マニュアル意見交換会の開催 平成18年2月4日</li> <li>・地域防災リーダー及び住民、神戸土木事務所等参加者約20名</li> </ul>	・学習マニュアルとして「防災の心得」を作成	15,225	神戸県民局 県土整備部 神戸土木事務所
大人のための携帯電話等情報安全教育事業の推進	インターネット、携帯電話を巡る事件が多発していることから、子どもたちが事件の被害者や加害者とならないように、保護者をはじめとする大人がこれらの影の部分をもより深く知ることにより、青少年への正しい育成や指導を行えるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人の勉強会等への助成(8団体345千円)</li> <li>・携帯電話の利用実態と利用影響アンケート調査の実施(管内中・高校生7,174人)</li> <li>・啓発冊子の作成(配付先:管内全公立小学校6年生の保護者(約10,000人)等)</li> <li>・地域で指導できるインストラクターの養成(10人)</li> </ul>	・県民自らが学び、自発的に取り組めるような環境のさらなる整備(勉強会への助成、啓発冊子の増刷、インストラクター養成のためのシステムづくり)	1,345	阪神南県民局 県民生活部 県民・環境担当参事(⑩県民生活部 県民担当参事)
体験・交流型環境学習の実施	尼崎港に設置されている環境修復実証実験施設を活用し、潮干狩り、ワカメ栽培などを体験することによる環境学習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(財)国際エメックスセンターに委託</li> <li>・5回実施</li> <li>・参加者計 117名</li> </ul>	事業の継続とともに阪神南県民局管内各市での種々の体験・交流型環境学習機会の提供を行う。	800	阪神南県民局 県民生活部 県民・環境担当参事(⑩県民生活部 環境担当参事)
都市住民の森づくりへの参画促進事業	日頃、森林や林業に触れる機会の少ない都市部の住民に対して、森のインストラクター等が森林や林業に関する啓発を行い、理解を深め、関心を高めることで、都市住民の森づくりへの参画への機運を高める。	・管内の小中学校で、森のインストラクターが講師となって、森林や林業について、体感、体験する「森の出前授業」を実施した。	引き続き森の出前授業やイベントでの森林教室を実施し、日頃森に触れる機会の少ない都市部の子どもたちへ森についての理解と関心を高める。	377	阪神南県民局 地域振興部 産業労働担当参事

さわやかな環境づくりに向けた環境学習等の推進	環境問題の現況、解決に向けた取り組みへの理解を深め、さらにその実践方法等を取得し、阪神北地域において活動の実践ができる人材を育成するため、阪神北地域の環境資源(フィールド、学習施設、人材等)を活用した講座を開催する。	地域の環境資源を活用した講座の開催。 (1)開催講座数:6 (2)参加者:延べ375人	・参画と協働による住民の環境保全への取り組みを促すためには、環境保全活動について学び、活動に参加するためのきっかけづくりを行っていく必要がある。 ・このため、住民を対象にした環境学習講座を継続して開催するとともに、新たに大学生を対象にした実践型の講座を開催する。	2,272	阪神北県民局 県民生活部環境担当参事
東はりまっ子森林体験学習事業	小学生の親子(緑の少年団を含む)を対象に、ひょうご森のインストラクターの指導のもと、森林の役割やそのはたらきを学習させるため、森林観察会及び木工教室を開催するもの。	・4/29於加古川市日岡山公園 参加者(森林観察会50名、木工教室150名)ひょうご森のインストラクター講師6名 ・8/6高砂市市の池公園 参加者(森林観察会40名、木工教室19名)ひょうご森のインストラクター講師4名	東播磨県民局管内のボランティア団体(4団体)やひょうご森のインストラクター会加古川支部の会員と協力して、子どもたちに緑の大切さを学習させるのに効果的な手法を考案し、実践する。	109	東播磨県民局 地域振興部加古川農林水産振興事務所
こども向け環境学習(水辺の教室等)の推進	感性豊かな子どもの時期に、環境に対する関心を深め、環境を大切にす豊かな心を育むため、関係機関と連携し子ども向け環境学習を推進する。	・水辺の教室の開催 開催数:7回 参加人数:201人 ・海辺の教室の開催 開催数:1回 参加人数:23人 ・ホタルの飼育及び幼虫の放流事業 参加小学校:8校 ・環境発見マップ作成事業 参加小学校:3校 ・指導者講習会の開催 開催数:1回 受講者数:18人 ・こども環境会議の開催 開催数:1回 参加人数:約170人 事例発表小学校・1校 2クラブ	・教育委員会等関係機関及びNPOとの連携	1,300	中播磨県民局 県民生活部環境担当参事
高校生のチャレンジショップ支援	管内の高校生を対象に職業への意識を高めるために管内の商業施設の空きスペースを利用した高校生のグループ単位によるショップをオープンする。ショップの内容の考案、企画書の作成、商品の仕入れ、店舗のレイアウト、運営、決算など高校生自らで取り組むことによって、仕事の面白さ難しさなどを体験させる。	平成17年8月19日～21日に高校生グループが姫路御幸通商店街内でチャレンジショップを運営。 ・参加人数:10グループ、52人	より多くの高校から参加者を得られるよう、これまでの事業成果等をもとに学校に対して参加を働きかけていく。	2,000	中播磨県民局 地域振興部産業労働担当参事

西播磨さわやかな環境づくり啓発・交流事業	「新西播磨さわやかな環境づくり地域行動計画」の実現に向け、環境づくり推進員を設置し、地域リーダー研修会や環境ミニフォーラムの開催、エコニュースの発行等を行い、環境に配慮したライフスタイルの変換などを目指した住民の実践活動や交流の促進等を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西播磨環境づくり推進員の設置（H14年度～）</li> <li>・庁舎からの情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電システム、環境情報コーナーの案内等</li> </ul> </li> <li>・環境情報紙「西播磨ECO NEWS」の発行 年6回、500部</li> <li>・地域リーダー研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>年5回(5月～10月)</li> </ul> </li> <li>・ミニフォーラムの開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>年6回(10月～3月)</li> </ul> </li> <li>・環境学習の支援・イベントへの参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>水生生物調査9回</li> <li>出前講座 年12回</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動の中核となるリーダーの育成</li> <li>・住民の実践活動の拡大や交流の更なる促進</li> </ul>	4,978	西播磨県民局 県民生活部 環境担当 参事
森・川・海子ども環境学習推進事業	15年度から3カ年事業として、西播磨教育事務所と連携し、毎年森・川・海に関する環境学習推進校を指定し、先導的な環境学習の実践を行うとともに「森・川・海子ども環境学習交流会」及び「子ども環境学習フォーラム」を開催し、体験型環境学習の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境学習推進校の指定と推進校における森・川・海に関する環境学習の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>森の学校 繁盛小学校(宍粟市)</li> <li>川の学校 揖保小学校(たつの市)、徳久小学校(佐用町)</li> <li>海の学校 御崎小学校(赤穂市)</li> </ul> </li> <li>・「森・川・海子ども環境学習交流会」の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>時期:平成17年11月16日、11月29日及び12月6日</li> </ul> </li> <li>・「子ども環境学習フォーラム」の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>時期:平成18年2月25日</li> <li>場所:赤とんぼ文化ホール</li> </ul> </li> </ul>	3カ年の成果を基に作成した「西播磨の森・川・海子ども環境学習ノウハウ集」を管内各小学校に配布し、更なる環境学習の推進を図る。	3,555	西播磨県民局 県民生活部 環境担当 参事
総合研修事業	但馬における地域ケアの充実を図るため、地域ケアに関わる専門人材に対して、知識・技術の提供や共通課題の解決に資する研修を実施する。 さらに、小中高生やボランティアの共生意識の醸成を図るための研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケアスタッフ 専門研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>57回(1,046人)</li> </ul> </li> <li>・キャップハンディ教室 <ul style="list-style-type: none"> <li>36回(803人)</li> </ul> </li> <li>・地区別住宅改修連絡会 <ul style="list-style-type: none"> <li>4回(77人)</li> </ul> </li> <li>・その他 13回(319人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各研修事業の継続実施</li> <li>・専門職の研修機会の提供により資質の向上を図る</li> <li>・福祉に関する意識の浸透と参画と協働の意識の醸成</li> </ul>	1,539	但馬県民局 但馬長寿の郷地域ケア課
思春期ピアカウンセリング事業	丹波地域の中高生の健康と生(性)に関連する課題に対応するため同世代の若者をピア(仲間)カウンセラーとして養成し、集団及び個別相談の場を設け、若者が相談しやすく、生(性)に対する自己決定能力を高める。また、関係者が一堂に会し丹波地域思春期保健連絡会を開催する。本事業を評価し、全県に広げる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期ピアカウンセラー養成講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>高校生等1,083人参加</li> </ul> </li> <li>・丹波地域思春期保健連絡会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>延62人参加</li> </ul> </li> <li>・事業評価会 20人参加</li> <li>・事業報告会 46人参加 <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者:行政・医療・教育関係者等のほかNPO法人たんばぐみ、ジェックス株式会社、NPO法人ハートブレイクを加えた。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアカウンセラーによる思春期ピアカウンセリング事業(集団及び個別相談)の実施</li> <li>・思春期保健連絡会の継続開催。</li> <li>・本事業を全県に広げるための研修会等へのピアカウンセラーたちの参加</li> </ul>	737	丹波県民局 県民生活部 柏原健康福祉事務所

口から始まる健康づくり(高齢者編)	老人性肺炎予防には口腔内を清潔に保つ口腔ケアが重要であることから、高齢者施設を対象に口腔ケアの実施を支援する。また、歯科医師と連携し、定期的な歯科検診の実施や相談体制の基盤整備を図る。	・口腔ケア実態調査 管内居宅介護事業所119カ所を実施 ・口腔ケア講習会 管内のデイサービス施設で実施 ・口腔ケアモデル事業特養等7施設で実施 ・嚥下体操ビデオの作成配布 管内居宅介護事業所に配布 ・介護事業者研修会 介護事業所職員を対象に実施	・事業実施にあたり参画と協働の視点から各団体等の具体的な意見の把握及び実施方法の協議	865	丹波県民局 県民生活部 柏原健康福祉事務所
口から始まる健康づくり(働き盛り編)	自覚症状がない歯周病は、30歳～40歳から進行する。高齢期の歯の喪失を防止するために、働き盛りの年代を対象に歯周病予防事業に取り組む。	・講習会の実施 89人参加 ・モデル歯科診療・ブラッシング指導 45人参加 ・歯の健康ノート配布 45人 ・モデル事業所従業員対象にアンケート調査の実施 38人	・事業実施にあたり参画と協働の視点から各団体等の具体的な意見の把握及び実施方法の協議	427	丹波県民局 県民生活部 柏原健康福祉事務所

■実践活動に取り組む中で、知識・技能を学ぶ機会の拡充や、学んだことを実践の現場で生かせる  
しゅみを充実します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成17年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H17事業費 (千円)	担当課
生涯学習リーダーバンクの設置	自らの学習によって得た知識や技能を生かして、学習グループ等の活動を支援することを希望する者を公募し、登録する「生涯学習リーダーバンク」を設置・運営する。	リーダーバンク登録者が学習の成果をボランティア指導者として社会に還元 ・登録者数:延べ1,861人 ・派遣数:2,854件	新規登録者の確保によるバンクの充実	—	県民政策部 生活創造課
「男女協働市民講師」の養成(再掲)		—			県民政策部 男女家庭課
森・川・海をフィールドにした体験・交流型環境学習の推進	失われた自然や健全な水循環、人と自然のつながりの再生・回復を目指し、県沿岸域で大規模開発が始まる以前の1950年前後の環境を回復することを目標に、流域ごとの取り組みを進める。	・森・川・海をフィールドにした体験・交流型環境学習事業を実施 ・森・川・海交流フォーラムの開催 115名参加 ・水生生物調査指導者技術講習会の開催 81名受講	・今後の流域や地区等での取り組みを一層進展させるため、先進流域団体の事例照会等によるネットワークの充実を図る。	15,973	健康生活部 水質課 (水生生物調査指導者技術講習会のみ⑩環境学習課)
ひょうご環境学校事業の推進(再掲)		—			健康生活部 環境政策課 (⑩環境学習課)

ひょうご・しごと情報 広場	職業に関するワンストップサービスセンターとして、求職者や事業主等に、就職支援及び職業能力開発の相談、情報提供等を実施。  (就職活動実践プログラム) 就職活動実践プログラムを受講する求職者に対し、仕事を通じて培われてきた自分の労働市場価値を最大限活かした合理的・実践的な就職支援技法の提供・学習の充実を図る。  (若者しごと倶楽部) 若年失業者(不安定就労者含む)及び学生、Uターン希望者の就職支援を実施。	就職活動実践プログラムの受講者 216人  ・利用サービス件数:24,752人 ・就職者数:886人	実践の場で役立つよう、求職者の意見を踏まえ、様々なニーズに対応できるようにプログラムの改善に取り組む。  ・NPOの活用、地域社会との連携、ネットワークの構築	110,058	産業労働部 雇用就業課 (18)しごと支援課
ひょうご・しごと情報 広場における職業能力 開発支援	キャリアアップに必要な職業能力の習得方法等の紹介をはじめ、企業へ専門コンサルタントを派遣し、職業能力開発に関する技法を紹介するなど各種相談事業を実施する。	各種支援事業の実施 ・相談受付件数:655件 ・個人向けセミナー延べ受講者:214人 ・専門コンサルタント派遣:19回 ・企業向けセミナー受講者:184人	・求職側と求人側のニーズを踏まえた、より効果的な職業能力開発の推進	43,007	産業労働部 能力開発課
西播磨さわやかな環境 づくり啓発・交流事業 (再掲)		—			西播磨県民局 県民生活 部環境担当 参事
“丹波の森”の環境学 習事業	「新丹波地域環境づくり行動計画」に基づき、住民のさらなる参画と協働のもと、21世紀の共生と循環の環境適合型社会を実現し、更に魅力ある「みんなで丹波の森」の環境づくりを推進する。	・「丹波の森」の環境学習事業」の実施 (シイ林の保全再生 参加者 54名 小稗ビオトープづくり 参加者 80名 水生生物調査 参加者 90名)	これまで支援してきた地域住民の参画と協働による実践活動を引き続き支援し、県民主体で展開できる体制づくりの推進を図る。	800	丹波県民局 県民生活 部環境担当 参事

□多様な世代の参画・協働を促します

■若い世代の地域づくり活動の実践力の向上を支援します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成17年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H17事業費 (千円)	担当課
“子どもの冒険ひろば”事業の拡充	子どもたちが遊びなどを通して生きる力を育めるよう、「自分の責任で自由に遊ぶ」を原則に、子どもたちがいきいきと遊べる場づくりに取り組む団体・グループ等に事業費を助成するとともに、ひろばで子どもたちを見守るプレイリーダーを開設されるひろばに派遣する。	・ひろばの開催 ひろば(広域)10カ所 ひろば(地域)201カ所 参加者数:60,528人 ・プレイリーダーの養成 研修: 年20回 養成人数:159人 ・ネットワーク会議の開催	平成19年度までに全中学校区数相当(360カ所)地域での事業展開を目指すため、18年度、拠点となるひろば(広域)を新たに10カ所拡充するとともに、地域で冒険ひろばを主宰する人材の育成に努める。 また、地域の中で冒険ひろばの活動が定着し、主体的な取り組みとして輪が広がっていくよう、県民局を核とした地域内のネットワーク化を進めていく。	32,016	県民政策部 青少年課

ひょうごハートブリッジ運動の推進	地域の中で、子どもたちを温かく見守り支援しようとする大人を増やすことにより、大人と子どもがともに顔の見える関係を築くとともに、声かけや見守りから気付いた子どものシグナルを早期に受け止め、解決へと結びつけることにより、「地域の子どもは、地域で育てる」機運を高める。	ひょうごハート・ブリッジ・メンバーズの募集、登録 ・メンバーズ登録者数 25,530人	・積極的なメンバーズ登録募集の広報 ・各地域でメンバーズが取り組む運動に対する支援・情報提供	1,216	県民政策部 青少年課
「チャレンジファミリー」地域応援事業	人材や施設等の地域資源を有効に活用し、地域の人々と協働して、親子参加型の宿泊体験事業を実施することにより、地域ぐるみで子育て家庭を応援する機運を高め、家庭や地域の教育力の再生をめざす。	子ども会、青少年団体、自治会等地域の団体等で実行委員会を組織し、地域の実状に応じたプログラムを企画・実施する。 ・プログラムの企画数(または実施数) 10事業 ・参加者数 596人、201家族	モデル事業として、引き続き実施するとともに、他の体験事業(ひろば事業)などとの組み合わせを図る等、活動の地域への広がりや浸透を図る。	2,650	県民政策部 青少年課
県民すべてがかかわる兵庫の教育推進事業の実施～オープンスクールの本格展開～	「資料編－1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			3,778	教育委員会 企画調整担当課長(18 教育企画課)
高校生地域貢献事業「トライやる・ワーク」の実施	高校生が、将来にわたって積極的に地域を支える人材としての自覚と態度を養うため、地域社会の力となる活動や地域住民の豊かな暮らしづくりに結びつく取り組み(クラス単位によるボランティア活動やグループ単位による活動等)を企画し、実施する。	全県立高等学校157校で実施	・地域住民や保護者の積極的な協力を得ながら、引き続き全県立高等学校で継続実施	126,300	教育委員会 高校教育課
ふるさと文化いきいき教室の実施	子どもたちがふるさと文化に触れ、人々とのつながりを体感することにより、ふるさとに愛着と誇りを持つとともに、豊かな心を育むため、「いきいき学校応援団」などの地域の人や団体等の支援を得て、学校におけるふるさと文化の歴史や伝統文化、地場産業等にふれる体験活動や、地域における芸術文化活動などを行う。	「いきいき学校応援団」等地域住民の参画と協働のもと、学校における歴史・文化に関する体験活動や地域における芸術文化活動等の実施及び地域の伝統文化活動にふれ、子どもたちが交流する県域のフォーラムの開催。 ・「地域におけるいきいき教室」の開設(継続的な教室(92校区)、啓発的な教室(287回)) ・「学校におけるいきいき教室」の開設(31市町126校) ・「ふるさと文化再発見フォーラム」の実施(児童・生徒、指導者、教育行政関係者210名参加)	・全市町で教室を開設するための取り組みの推進 ・県民が子どもたちのふるさと観を育むための教育に主体的にかかわろうとする意識の醸成	36,196	教育委員会 社会教育課、義務教育課

<p>スポーツクラブ21ひょうごの推進</p>	<p>21世紀において豊かなスポーツライフを実現し、スポーツを通じて地域コミュニティづくりや地域の教育力を活用した青少年の健全育成を図るため、小学校区を基本単位に、県民誰もが参加できる地域住民の主体的運営による地域スポーツクラブの設立を支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ設立状況 827クラブ(100%) 会員数 343,746人</li> <li>・クラブマネージャー養成講習会(参加者数累計1,800名)</li> <li>・スポーツリーダー養成講習会(参加者数累計2,538)</li> <li>・ブロック別交流大会(7,453名参加)</li> </ul>	<p>県下の全小学校区に総合型スポーツクラブが設立されたことにより、生涯にわたってスポーツに親しむことのできる環境が整ったとともに、世代を超えた住民同士の交流が積極的に行われるなど、健康で活力ある地域づくりの基盤が整備された。今後は住民の参画と協働による地域ごとのスポーツクラブの永続的な運営のため、以下の取り組みを推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定した財務基盤を確立するための活動規模等に見合う会員数確保と会費設定</li> <li>・会員に魅力ある多彩な活動プログラムの展開</li> <li>・多様な活動に対応可能な指導者の確保</li> <li>・地域の認知度を高め既存団体等との連携の強化 等</li> </ul>	<p>1,476,641</p>	<p>教育委員会 地域スポーツ活動室</p>
<p>こころ豊かな子どもを育むまちづくり応援事業</p>	<p>心身共に健全な児童を地域ぐるみで見守り育てていくため、子どもの良いところをほめて、のびのび育てていこうとする運動(子どもをほめる運動)を地域の中で推進する。 大人である地域住民が、学校と連携して、子どもを見守り、その子の優れた個性や能力、社会性を発見し、地域全体でほめる(表彰する)ことにより、子どもと大人が心豊かになる地域ぐるみの青少年の健全育成をめざす。</p>	<p>4月 市町青少年担当課長に事業説明・協力依頼 東播磨管内小学校長に文書で事業説明及び協力依頼 6月 市町教育委員会からの推薦。 ・明石市 松が丘小地区(対象人員:76名) ・加古川市 志方東小地区(対象人員:30名) 7月 推薦のあった2小学校地区のモデル実施を決定 8月～3月 表彰式実施</p>	<p>・継続実施の2校区での取り組み状況を検証し、効果的に事業が展開できる方法を見出していく。 ・事業の趣旨、実施方法等を広く周知し、県民運動に高めていく。 ・平成17年度未実施である高砂市、稲美町、播磨町での実施をめざす。 ・PTA総会、子ども会総会、小学校長会などの機会に事業趣旨を説明する。 ・事例検証のためのフォーラムを開催する。</p>	<p>1,887</p>	<p>東播磨県民局 県民生活部地域活動推進担当 参事</p>

■若い世代が参画・協働するきっかけとなる機会を創出します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成17年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H17事業費 (千円)	担当課
「若者ゆうゆうひろば」 事業	家庭や学校以外で、多様な若者を受けとめるための「居場所」づくりを進めるNPO等に対し、事業費を助成する(助成金額1件あたり25万円以内)。 事業の実施にあたっては、青少年育成会議を主催するなど青少年関係団体とネットワークのある財団法人兵庫県青少年本部に委託し、同財団が企画の募集及び選考、事業採択、広報・情報提供、報告会の開催等を行う。	・ひろばの開設 30カ所 (各県民局3カ所) 参加人数:105,375人 ・ネットワーク化 ・「若者の居場所づくり推進員」の設置 1名	平成20年度までに全市町で開設することを旨として毎年10カ所ずつ拡充するとともに、若者の話し相手となるボランティアであるユースサポーターの養成等人材の育成に努める。 また、地域の中で若者ゆうゆう広場の活動が定着し、主体的な取り組みとして輪が広がっていくよう、県民局・地方青少年本部を核とした地域内のネットワーク化を進めていく。	14,181	県民政策部 青少年課
学生による地域づくり フォーラムの実施	中播磨の魅力や地域資源をいかに地域づくりに活かしていくか、そのために自分たちに何ができるかについて、大学生等の若い自由な発想で考えてもらうためのフォーラムを開催する。	・開催期日: 12月18日 (日)午後 ・開催場所: 姫路職員福利センター ・参加者: 4グループからなる意見発表者、地域ビジョン委員、一般参加者等 60人	フォーラムの成果を地域ビジョン推進プログラムに基づく実践活動等に反映させていく。	500	中播磨県民局企画調整部企画調整担当参事 (18企画調整部企画調整・市町担当参事)

■多様な世代が気軽に参画・協働できるようさまざまな支援体制を整備します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成17年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H17事業費 (千円)	担当課
わくわく幼稚園・わくわく保育所の開設	【わくわく幼稚園】 家庭や地域の教育力が低下し子どもによるいじめ、学級崩壊(小1プロブレム)等の問題行動が増加していることから、在宅幼児を地域の幼児教育センターである私立幼稚園において、特色ある幼児教育を体験させ、小学校への円滑な移行を支援する。  【わくわく保育所】 在宅の4・5歳児を対象として、民間保育所において、専門的な体験保育を行い、児童が円滑に小学校に移行できるようにする。	【幼稚園分】 ・在宅幼児に特色ある幼児教育わくわく幼稚園を開設する私立幼稚園への補助を実施。  【保育所分】 実施保育所数 100カ所	【幼稚園分】 わくわく幼稚園実施園数の拡大を図る。  【保育所分】 県保育協会・各民間保育所と協力し事業実施。	【幼稚園分】 26,160  【保育所分】 24,000	企画管理部 教育課、健康生活部 児童課
家庭と地域の子育て 力アップ事業の推進	県立こどもの館において、「子育て・親育て事業」として親子でしつけとマナーを身につける体験講座や親子ふれあい体験を県内各地で開催するとともに、子どもを生き育てやすい環境づくりに向けた子育てや子育て支援を県民同士が考え、議論するワークショップを開催する。	子育て・親育て事業(しつけとマナー体験講座、祖父母世代の子育てセミナー、親子ふれあい体験)の実施 ・152回開催 ・参加者延べ10,819人  ワークショップの開催 ・参加者288人	参加した親子がともに満足できる内容とする。	5,464	健康生活部 少子対策課

まちの子育てひろば事業の推進	子育て中の親と子が気軽に集い、仲間づくりを通して子育ての悩みを話し合い、情報交換ができる身近な拠点となる「まちの子育てひろば」(以下「ひろば」という。)の開設を促進し、地域団体やボランティア等との参画と協働により、子育て相談や親子の体験活動を支援するなど、地域全体で子育てを支えるしくみづくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まちの子育てひろば」の開設状況 1,611</li> <li>・「まちの子育てひろばコーディネーター」を地域に配置(平成17年度:30名)</li> <li>・「動くこどもの館号」の派遣 355回</li> <li>・「ひろばアドバイザー」の派遣 253件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家による相談機能の強化や親子の社会性の涵養につながるような多様な体験活動の実施により、家庭、地域、行政の力を結集し、「魅力あるひろば事業の一層の充実</li> </ul>	92,131	健康生活部 少子対策課
----------------	--	--	---	--------	----------------

## ②活動を高め、支える

□地域に根ざした活動を支える人材づくりを支援します

■地域リーダーや地域プランナーの育成を支援します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成17年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H17事業費 (千円)	担当課
生涯学習情報プラザの運営(再掲)		—			県民政策部 生活創造課
大学洋上セミナーの実施準備	兵庫県の4年制大学生が洋上で単位の取得できる講義を受け、共同生活を体験しながら訪問諸国との交流を深めることを通して、日本とかわりの深いアジア・太平洋地域の理解促進、大学間の連携、大学の枠を越えた学生交流の充実、学生の国際性の涵養等を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「大学洋上セミナーひょうご2006」参加学生の募集</li> <li>・参加学生を対象に事前研修の実施</li> </ul>	アンケート調査による学生参加者の意見をカリキュラムづくりに反映	2,602	企画管理部 教育課
「1.17防災未来賞」の創設	阪神・淡路大震災の経験を通して得た自然の脅威と生命の尊さや、共生の大切さを考える「防災教育」を推進し、未来に向け安全で安心な社会をつくるため、学生が学校や地域において主体的に取り組む「防災教育」に係る先進的な活動を顕彰する「1.17防災未来賞」(ぼうさい甲子園)を全国から公募する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成17年9月～10月末まで募集(応募件数147件)</li> <li>・平成18年1月8日 表彰式開催 審査の結果、優秀な取り組みについて知事表彰及び事例発表を実施</li> <li>グランプリ 1件</li> <li>ぼうさい大賞 2件</li> <li>優秀賞 11件</li> <li>奨励賞 1件</li> </ul>	参画と協働による安全で安心な社会づくりに向けた学生の取り組みを支援	3,262	企画管理部 防災企画局 企画課
ひょうご防災カレッジの開催	阪神・淡路大震災において、地域防災力の強化の必要性が改めて認識されたこと、土砂災害対策等地域密着型の防災体制の必要性が高まっていることから、地域のマンパワーを結集した防災体制を構築するため研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通研修 県下10地域で開催 総参加人数2,242人</li> <li>・専門講座 全1回 神戸地区で開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民局単位での事業執行であることから、各県民局による積極的な事業展開が必要である。</li> <li>・防災計画課として、講義内容等に格差が生じないように調整する必要がある。</li> </ul>	1,332	企画管理部 防災計画課

防災協働社会を担う人材の育成	今世紀半ばまでに発生するといわれている東南海・南海地震などの地震や、近年数多く発生している台風や集中豪雨などの風水害等に的確に対応できるよう、自主防災組織のリーダーなど地域の防災の担い手が防災に関する体系的・実践的な知識・技術を習得し、地域の防災力を向上させることをねらいとして、「ひょうご防災リーダー講座」を開催する。	・ひょうご防災リーダー講座の受講者の募集、講座の開催 受講者数131名 ・「ひょうご防災リーダー」115名登録 ・ひょうご防災リーダーは、地域コミュニティや職場において実践活動を展開	できる限り、市町間で受講者数の格差をなくす方を検討する必要がある。	1,800	企画管理部 防災計画課
障害のある方への声かけ運動推進事業	障害のある方が、地理不案内や電車・バスの乗り降り等で困っている時に、必要な手助けを積極的に行うよう呼びかける県民運動を展開する。	・声かけ運動推進員による普及啓発活動の実施 ・障害のある方による出前講座の実施	推進員が活躍できる場の提供に向けて、 ・のじぎく国体・大会の開催情報の提供と参加呼びかけ ・県内市町等イベントでのボランティア募集情報の提供 など推進員の実践活動の促進に向けた取り組みを進める。	5,579	健康生活部 ユニバーサル社会担当課長(⑩ユニバーサル課)
「ユニバーサル社会づくり」リーダー養成講座開設事業	ユニバーサル社会の実現に向けて、その理念を共有しつつ新しい取り組みを「はじめる」、協働して取り組むために「つながる」、新しい取り組みを「ひろめる」、この3つの行動が地域や企業等で展開され、具体的実践活動の輪が広がるよう、理念の普及や実践活動の展開を先導する人材を養成する。	開催日：2月12日～3月23日 (延べ6日間) 受講者：91名	地域や企業で活躍する様々な団体のリーダー養成を進めていくため、 ・事業の積極的なPRを行う ・研修内容の充実を図るなどについて、取り組む。	324	健康生活部 ユニバーサル社会担当課長(⑩ユニバーサル課)
ひょうご環境学校事業の推進(再掲)		—			健康生活部 環境政策課 (⑩環境学習課)
ひょうごCSRクラブの支援	地域の活動リーダーをはじめ県民が主体となって運営する「ひょうごCSRクラブ」を中核として、リーダー養成や各種団体・グループのネットワーク化を進め、成熟社会に対応したCSR(文化・スポーツ・レクリエーション)活動の県民への広がりを促進する。	CSRクラブ活動スタッフ(75名)、会員(369名+68団体)を中心に県民主体で事業を企画・実施 ・地域イベント31事業 参加者10,841名 ・活動リーダー養成研修、交流会の開催 4事業 参加者1,967名 ・HPの拡充及びクラブニュースの発行 等	・会員や活動スタッフの固定化・減少を防ぎ、団体の自立化を促進するため、イベントの開催やHP等を通じ、広く県民にCSR活動の周知の促進を図るとともに、自主的な活動展開を図るよう支援する。	10,298	産業労働部 労政福祉課

<p>「食の健康運動リーダー」の活動支援</p>	<p>望ましい食生活の実現に向け、県民一人ひとりが「食」について関心を持ち、自ら考える習慣を身につける「食育」を推進するため、地域において「食育」の普及に自主的・主体的に取り組むボランティア(食の健康運動リーダー)を育成するとともに、ボランティアが保育所、幼稚園の園児とその保護者を対象に行う農業体験や調理体験等の実践活動へ支援を行う。</p>	<p>・食の健康運動リーダー登録数 1,972人 (リーダーの募集にあたっては、関係団体や農業グループ等の積極的な協力を得た) ・実践活動実施回数 614回 ・参加者数 27,445人</p>	<p>・農産物の生産から、収穫、調理まで一体的な体験を行うため、農業体験と調理体験を担当する各リーダーが連携した取り組みが可能となるような働きかけ ・都市部の園児のための体験活動ができる場所の確保 ・「食育」は全世代を通して実践する必要があるため、これらの取り組みの成果が地域に広がるとともに、草の根的な運動につながるようしくみの検討 ・リーダー数の増加に見合う体験活動機会の確保 ・食育基本法、食の安全安心と食育に関する条例を踏まえたリーダーの資質向上</p>	<p>6,664</p>	<p>農林水産部 総合農政担当課長(18) 総合農政課、健康生活部健康ひょうご推進担当課長(18) 健康ひょうご課)</p>
<p>コミュニティ・サポート支援事業</p>	<p>被災高齢者等への見守り体制の一層の充実を図るため、災害復興公営住宅等における住民相互の見守り活動グループの育成を支援する。</p>	<p>・コミュニティサポートグループの育成数 : 84グループ ・仲間づくり交流事業 : 175事業</p>	<p>・平成18年度から、高齢者の自立を支援する拠点を災害復興公営住宅に開設していくこととし、見守りグループの育成、フォローも拠点において継続的に実施する。</p>	<p>14,961</p>	<p>県土整備部 復興推進課(18) 復興支援課)</p>
<p>生涯学習ボランティア活動総合推進事業の実施</p>	<p>博物館等におけるボランティア活動の拠点となる博物館ボランティアセンターを開設し、情報提供・相談を行うとともに、各種セミナーの実施など、ボランティアの養成を行う。</p>	<p>各社会教育施設において、ボランティアセンターを開設し、ボランティア希望者に情報提供や相談業務を実施した。 ・ボランティア登録者数 877人 ・ボランティア派遣・活動数 6,652人</p>	<p>ボランティアセンターを核とし、引き続き、ボランティア希望者にボランティアに関する情報提供や相談業務を実施するとともに、広報活動の推進により、活動の活性化を図る。</p>	<p>889</p>	<p>教育委員会 社会教育課</p>

共生博物館地域研究員養成事業の実施	身近な自然を題材に地域の自然環境や成り立ちの再発見や再認識する機会を地域住民に提供するコーディネーター的な役割を担う人材(共生博物館地域研究員)を養成する。また、研究員が中心となって地域における生物多様性保全の普及・啓発の拡大を図るとともに、人材育成及び人的ネットワークの構築・拡大をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸及び淡路地区で地域研究員ステップアップセミナーを実施(延べ92名参加)</li> <li>・ひとく地域研究委員のマニュアル(「ひとくフィールドワーク入門」)作成、配布し、活動モデルを示す。</li> <li>・自然環境調査(リサーチプロジェクト)の実施。4テーマで45名参加。</li> <li>・ひとく調査隊による調査として、たんぼぼ調査を実施。3,276名が参加。</li> <li>・ひとく地域研究員・連携グループによる活動報告会「共生のひろば」開催(2月11日に実施。発表テーマ35件、参加者数80名)。</li> <li>・成果として「共生のひろば」報告書作成・出版</li> <li>・現在までに累計28名の共生博物館地域研究員を養成。(平成18年3月時点)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規地域(2地域) <ul style="list-style-type: none"> <li>…神戸地域および阪神北地域において新たに地域研究員を養成する。</li> </ul> </li> <li>・継続地域(3地域) <ul style="list-style-type: none"> <li>…但馬地域(山東町)、神戸、淡路地区でゼミナール形式で継続実施。</li> </ul> </li> <li>・リサーチプロジェクト及び野外セミナーを実施する中で、ひとく調査隊として新たな調査を展開するとともに、地域研究員へのステップアップをはかる。</li> <li>・地域研究員・連携グループによる活動報告会「共生のひろば」を平成19年2月に開催、報告書を平成19年3月出版予定。</li> </ul>	1,066	教育委員会 社会教育課
歴史文化遺産活用活性化事業の実施(再掲)	—				教育委員会 文化財室
県立考古博物館(仮称)先行ソフト事業の実施(再掲)	—				教育委員会 文化財室 ( <sup>⑩</sup> 考古博物館開設準備室)
人権文化創造活動支援事業の実施	「兵庫県人権教育及び啓発に関する総合推進指針」に基づき、体験をもとに人権課題の解決への力を養う講座や、新たな人権学習リーダーを養成する講座を開設する市町に対して、経費の一部を補助する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験から学ぶ人権講座158講座</li> <li>・人権学習リーダー育成講座26講座</li> </ul>	引き続き市町と地域住民が中心となった人権教育の取り組みの推進を支援	14,720	教育委員会 人権教育課
食のリーダー養成	幼稚園等における農業体験を指導するリーダーを委嘱し、農業体験に必要な資材等を提供する。	幼稚園等26園で農業体験指導を実施。リーダー98人	リーダーの資質向上を図り、事業効果を高める。	143	阪神北県民局地域振興部宝塚農林振興事務所
北はりま田園空間博物館交流推進事業の支援	北播磨地域における、都市と農山村との交流を通じた豊かな地域づくりのため、北はりま田園空間博物館を拠点として、地域情報の発信・地域案内人の育成を図り、行政と住民が連携し、北播磨地域が持つ様々な資源を生かして、都市住民との交流を図る北播磨交流の祭典を含む、住民の参画と協働による交流の舞台づくりを支援する。 事業の実施にあたっては、住民主導の運動として実施し、事業完了後も地域に根付いた運動とさせるため、現在、北播磨地域において、地域づくりの中核的組織であるNPO法人北はりま田園空間博物館に業務を委託する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HP、パンフレット等を利用した地域情報の発信</li> <li>・地域案内人養成講座の開催 5回、参加者106人</li> <li>・巡回講座の開催 13回、参加者378人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(人材の育成と活用)</li> <li>・住民自らが風土・資源を再認識し、地域づくりの実践者としての意識を醸成するため、養成講座・巡回講座を実施</li> <li>・地域を訪れる来訪者に、地域の魅力を解説できる人材の育成</li> <li>・養成講座の修了者の参画の場を拡大するため、案内人による来訪者の案内システムづくりを行う</li> </ul>	4,076	北播磨県民局地域振興部社土地改良事務所

“オータム・フェスタ 2005 in テクノ”の開催	播磨科学公園都市のにぎわいづくりを目的に、地元特産品の展示即売会や、地域で活動を行っている団体の活動発表の場を設ける。	各種団体により構成された実行委員会による企画・運営	実行委員会の組織力の強化	1,483	西播磨県民局 県民生活部 県民担当 担当 担当
たじまエコライフの創造に向けた体験・交流型環境学習の推進	多くの人々が豊かな自然のなかで遊び、学ぶ体験・交流型の各種プログラムを提供し、自然の大切さやふるさとの大切さ、自然環境保全意識の醸成を図り、人と自然の豊かなふれあいの回復をめざす(H17～H19年の3カ年事業)。	1 自然環境学習人材養成講座 2 夏の子ども自然環境探検ツアー 3 たじまエコフェスタ ・子ども、大人の環境会議 ・さわやか環境展	・環境活動の情報共有化及び環境ネットワーク化 ・環境学習施設と学習指導者など基盤の活用と整備	1,362	但馬県民局 県民生活部 環境創造担当 担当
加古川源流の里保全再生事業	流域に暮らす人々の参画と協働のもと、健全な水環境や人と自然との豊かなふれあいを回復し、ひょうごの森・川・海の再生プランを推進する。	・バイカモの保全再生活動 参加者 80名 ・「森・川・海ステップアップ事業」の実施(水生昆虫・森の昆虫調査 参加者 200名)	引き続き、「自然再生方策」と「推進方策」に基づき、バイカモやオグラコウホネ等の再生活動を、地域住民の参画と協働により展開する。	1,730	丹波県民局 県民生活部 環境担当 担当

■活動団体の企画や運営を担う人材が専門的知識を習得する機会や場を提供します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況(平成17年度)	参画と協働の課題と今後の取り組み方向	H17事業費(千円)	担当課
ふるさとひょうご創生塾の開設	地域づくり活動の第一線で活躍しているリーダーが、ふるさとづくりの理念や理論・技法などを専門的、体系的に学び、地域における課題発見能力や解決能力を高める場として開設する。	講座の開催 ・開催数:27回 ・受講者数: 9期生 25人 10期生 35人	・講座内容・運営方法の見直し ・卒業者と在塾生との交流	10,395	県民政策部 生活創造課
NPO大学推進事業の実施	ひょうごボランティアプラザにおいて、県民のNPOの活動への参画と、NPOの運営基盤の確立を支援するために、NPOと協働しながら、組織運営、人材活用、資金調達などに関する知識や技術等を修得する2種類の講座を実施する。 ・マネジメントコース(NPOの運営基盤を確立するために必要な知識を体系的に学ぶコース) ・ガバナンスコース(NPOの代表者等を対象に、NPOの適切な運営と健全な発展を支援するコース)	運営委員会の設置 ・委員数:8名 講座の実施 ・マネジメントコース:37人 ・ガバナンスコース:46人	・講座内容をNPOの運営一般に役立つ知識・技能に関するものから、バランス・スコア・カードによる経営分析、情報の収集・発信、資金調達の手法など特定テーマにしぼりこみ、内容の専門化・高度化を図る。	1,056	県民政策部 参画協働課
まちづくり支援事業	まちづくり基本条例に掲げる“協働のまちづくり”の理念のもと、地域に根ざした地域住民の自発的かつ自律的なまちづくり活動を支援するため、まちづくりアドバイザー、やコンサルタントの派遣、活動助成などを実施する。	支援した住民団体数: 38地区	・県下全域において住民主体のまちづくりを推進するため、県下全市町での事業活用等により、取り組みを一層推進	30,203	県土整備部 都市政策課

□ 県民の主体的な活動拠点を充実します

■ 身近な地域で県民一人ひとりが交流し、学び、実践活動を行う場づくりを支援します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成17年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H17事業費 (千円)	担当課
生活創造センター構 想の推進	各地域の文化会館等が、さまざま な分野の生活創造活動を支援する 拠点となるよう機能の充実を図ると ともに、文化会館、生活科学セン ターの建て替え時等にあわせて、各 地域に生活創造センターの整備を 進める。	・神戸生活創造センター の運営 ・丹波の森公苑の運営 ・東播磨生活創造セン ターの整備計画策定	・神戸生活創造セン ター、丹波の森公苑 の運営の一層の充実 ・参画と協働の手法 による東播磨生活創 造センターの整備推 進	0	県民政策部 生活創造課
県民交流広場事業 (仮称)モデル事業の 推進	「資料編－1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			217,108	県民政策部 生活創造課
生涯学習情報プラザ の運営(再掲)	—				県民政策部 生活創造課
地域づくり活動応援 (パワーアップ)事業	「資料編－1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			100,000	県民政策部 参画協働 課、各県民 局
ひょうごボランティア プラザの運営(再掲)	—				県民政策部 参画協働課
ひょうご国際プラザの 設置・運営	外国人の活動支援、日本人の国 際理解、県民参加の中核施設として ひょうご国際プラザを運営する。	国際情報センター、外 国人デジタルズセンター、 日本語教育推進室、NG O活動支援室等の運営  ・国際情報センター利用 者数 46,897人 ・日本語講座 開催数 13講座 受講者数 624人 ・NGO活動支援室利用団 体数 227団体	・一層の広報による 施設利用の推進	211,317	産業労働部 国際政策課
多自然居住交流拠点 整備支援事業	多自然地域(自然豊かな農山漁村 など)において、都市住民・地域住 民・NPO等の団体が、都市と農村 の交流を促進する場としての交流拠 点施設を整備する場合には、県が市 町とともに整備費の一部を助成す る。	淡路市の地域団体に対 して、交流拠点施設整備を 支援	・「多自然居住交流拠 点整備事業」として事 業を改変し、都市住 民・地域住民・NPO 等への助成を継続	2,475	県土整備部 都市政策課
空き家活用型多自然 居住空間整備支援事 業	多自然地域(自然豊かな農山漁村 など)において、都市住民・地域住 民・NPO等の団体が、空き家を活用 して、都市住民などの宿泊体験事業 等を実施する施設を整備する場合 に、県が市町とともに整備費の一部 を助成する。	淡路市の2NPO団体に 対して、空き家活用型 の宿泊体験施設整備を 支援	・多自然居住交流拠 点整備事業に統合	1,250	県土整備部 都市政策課
「快適空間」創造まち づくり活動支援事業	「資料編－1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			5,750	県土整備部 景観形成室

農住まちづくり計画策定助成事業	『快適空間』創造作戦の一環として、市街化区域内における農と住の調和したまちづくりを推進することを目的として、農住組合を含む地域住民団体が行うまちづくり事業の計画策定を支援する。	支援した地域住民団体:3地区	・市町担当者会議において制度の説明と利用の呼びかけを行っている。 ・「快適空間」パンフレットを市町及び県民局に配布	3,000	県土整備部 市街地整備課
地域活動拠点の整備	阪神南地域ビジョン委員会が地域ビジョンの実現に向け、自らの活動、地域の活動グループと連携、交流に供するため、休日、夜間にも利用できる活動拠点(阪神南地域ビジョン交流プラザ)を設置・運営する。	阪神南地域ビジョン交流プラザの設置(平成17年4月～)	地域ビジョン委員会の活動等を推進する。	583	阪神南県民局企画調整部企画調整担当参事 (⑱企画調整部企画調整・市町担当参事)

■商店街の空き店舗、地元企業の厚生施設等の地域への開放の促進を通じて、企業が地域づくり活動に参画する機会を創出します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況(平成17年度)	参画と協働の課題と今後の取り組み方向	H17事業費(千円)	担当課
空き店舗活用支援事業	地域におけるまちのにぎわいや活気の創出を図るため、地域住民の生活利便を増進する生活支援型ビジネスを行う団体、グループや空き店舗等を活用して事業を展開する商業者に対して支援する。	商店街・小売市場等に広く事業を募集 ・助成事業件数 21件	・事業のさらなる普及啓発	16,232	産業労働部 商業振興課
中心市街地商店街活性化フォーラムの開催	姫路市中心市街地において、商業者が主体的に商店街の活性化に向けた取り組みを進めていく意欲を高めるため、先進事例を学びつつ、活力ある中心市街地商店街づくりについて考えるパネルディスカッション等を行う。	・開催期日:18年2月10日 ・開催場所:姫路商工会議所 ・参加者:商店街、まちづくり協議会、NPO、商工会議所、行政等の関係者約80人	本フォーラムで共有した課題の解決に向け、商店街、まちづくり団体、自治会等による検討会を設置し、商店街の今後のあり方について検討していく。	1,000	中播磨県民局 地域振興部産業労働担当参事

□活動に必要な財政的基盤の充実を支援します

■活動に必要な資金を自前で調達できるなど、地域づくり活動に取り組む団体の活動が継続的に成り立つしくみづくりを支援します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況(平成17年度)	参画と協働の課題と今後の取り組み方向	H17事業費(千円)	担当課
地域づくり活動応援(パワーアップ)事業(再掲)		—			県民政策部 参画協働課、各県民局
団体・NPO等へのアウトソーシングの推進(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
地域共生ビジネス離陸応援事業	コミュニティ・ビジネスの事業の立ち上がり経費の一部補助、個別コンサルタントの派遣等を実施することにより、県下各地域において、コミュニティ・ビジネスの創出を支援する。	H16採択団体の内2年目の補助として13団体に支援	事業の組み替えによりH17で事業終了(コミュニティ・ビジネス創出・育成支援事業として継続)	(下段の事業費に含まれる)	産業労働部 商業振興課

コミュニティ・ビジネス 創出・育成支援事業	コミュニティ・ビジネスの事業の立ち上がり経費の一部を補助することにより、県下各地域におけるコミュニティ・ビジネスの円滑な起業を支援する。	起業予定者から広く事業を公募 ・応募数: 39 ・助成数: 23	・事業のさらなる普及啓発 ・中間支援NPOとの連携による支援	33,384	産業労働部 商業振興課
--------------------------	--	--	-----------------------------------	--------	----------------

■中・長期的な視点からひょうごボランティア基金を有効に活用し、適切な支援をします

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成17年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H17事業費 (千円)	担当課
ひょうごボランティア基金、阪神・淡路大震災復興基金による助成	ひょうごボランティア基金及び復興基金により県民ボランティア活動の裾野の拡大・定着、NPO活動のエンパワメントを目的として各種助成を展開している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災地外活動に対応してきたボランティア基金事業を全県版に拡大するとともに、地域課題の解決のための広域性の高い活動、行政とNPO協働事業(行政提案型)、企業とNPOの協働事業、海外及び国内の先進事例調査研究、中間支援活動への支援など、多様な活動に対応した、きめ細かな助成メニューに見直しを図った。</li> <li>ボランティアグループ助成 運営費 76,230千円(2,541件)</li> <li>学生ボランティア活動助成 運営費479千円(6件)</li> <li>立ち上げ支援助成 4,679千円 (41件)</li> <li>チャレンジ事業助成 3,860千円(5件)</li> <li>NPOパワーアップ助成 3,700千円 (74件)</li> <li>行政・NPO協働事業助成 15,200千円 (27件)</li> <li>企業・NPO協働奨励事業 1,500千円(5件)</li> <li>中間支援活動助成 5,000千円(5件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな助成メニューの着実な実施</li> <li>市町ボランティアセンター等とNPO等の協働事業助成の創設</li> </ul>	110,648	県民政策部 参画協働課

■申請手続きなどをわかりやすく示すことを基本に、1カ所(1回)で各種行政サービスが受けられるよう利便性を向上します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成17年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H17事業費 (千円)	担当課
NPOコミュニティビジネス等活動応援貸付制度の充実	被災地内における団体・NPOの立ち上げ期の初期投資に対する貸付制度の対象を県下一円の団体・NPOに拡充し、コミュニティビジネスをはじめとした様々なボランティア活動の活性化を図る。	県予算による貸付1件 3,000千円	・制度の普及啓発による活用促進	5,677	県民政策部 参画協働課

③活動をつなぎ、<sup>ひろ</sup>拡げる

□みんなの情報をつなぎます

■地域づくり活動に関して、個人や各種団体、NPO/NGO等の情報の共有が積極的に行われるよう地域づくり活動登録などの運用を工夫します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成17年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H17事業費 (千円)	担当課
地域づくり活動登録 制度の運用(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
ひょうごボランティア 活動支援ナビの運営 (再掲)		—			県民政策部 参画協働課
ひょうご人権ネット ワーク事業の推進	人権関係機関、地域・職域団体、NPO等で構成する「ひょうご人権ネットワーク」のもとに、人権擁護にかかわる啓発・相談・援助等の活動を連携・協働して重層的に展開する。	ネットワークの運営 ・構成団体数:51団体 ・連絡会議等の開催 ・開催回数:6回 ・参加者数または委員 数:92人 人権バスツアーの実施 ・参加者数:57人	・企画委員会、人権 研修等へのネット ワーク参画団体の参 加促進 ・ネットワーク未参加 団体の参加促進	2,964	健康生活部 人権担当課 長(18人権 推進課)

■県民が主体的に地域づくり活動に関する情報の発信や共有ができるよう、ITを活用したしくみづくりなどを支援します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成17年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H17事業費 (千円)	担当課
多自然居住推進事業 (多自然居住支援サ イトの運用)(再掲)		—			県土整備部 都市政策課
「中播磨わくわく地域 交流ネット」(中播磨 地域活動団体情報発 信・交流支援システ ム)の推進	中播磨県域内の地域活動団体の情報発信機能の強化と交流促進を目指し、ホームページ作成支援など情報発信の場を提供する「中播磨わくわく交流ネット」を創設する。	システムの運用を継続支 援 ・登録団体数 102件  運用成果を検証し、今後 の発展への検討を行う フォーラムを開催 ・参加者数 73名	システムの自主運用	1,000	中播磨県民 局 企画調 整部ふるさ と再生担当 参事

■企業や各種団体などの持つ情報誌などの情報資源との連携を図り、地域づくり活動に関する情報を提供します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成17年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H17事業費 (千円)	担当課
「ユニバーサル社会 づくり」情報発信事業 (再掲)		—			健康生活部 ユニバーサル 社会担当 課長(18ユ ニバーサル 課)

□多様な主体をつなぎ、地域固有の取り組みを支援します

■多様な主体間や地域間の交流・連携・協働の機会を充実し、各地域の独自の取り組みを支援します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成17年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H17事業費 (千円)	担当課
こころ豊かな人づくり 500人委員会	地域の諸課題に対し、一人ひとりが自らの問題意識を持ち、真の豊かさを実感できる社会の創造に取り組んでいけるよう、実践活動における指導者養成の場を提供する。2カ年にわたる全県・地域別の研修を実施するほか、修了後のOB会等の促進を通じ、「参画と協働」を基本姿勢とした県民による主体的な取り組みを支援していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第9期委員数 656人</li> <li>全県セミナー 2日</li> <li>ブロック別カリキュラム地域セミナー 6回×10地域</li> <li>地域コーディネーター養成講座 6回×10地域</li> </ul>	各分野の課題に対応した実践活動の展開を進めるため、研修体系をワークショップや実践・体験活動中心に組替え、青少年活動、地域活動の実践者との連携を促進する。	28,740	県民政策部 青少年課
ふるさと青年協力隊	過疎と過密地域を抱える本県の特性を踏まえ、さまざまな交流活動を通じた地域間の連携を図るため、都市部の青年を農山漁村に派遣し、地域の人々との交流や共同作業を通じて、地域の活性化に寄与するとともに、青年の自己実現や社会参加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと青年協力隊派遣隊数:3隊</li> <li>派遣人数:57名</li> <li>OB活動の推進</li> <li>ふるさと若者交流ひろばの開催など自主的な交流会活動を実施</li> </ul>	地域住民の参画のもとに地元市町が受け入れ母体となり、青少年育成県民運動の中核である青少年本部と協力して、事業を推進するとともに、青少年が主体的に参加し、交流活動等を実施する。	3,787	県民政策部 青少年課
地域づくり活動登録 制度の運用(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
ひょうごボランティア 活動支援ナビの運営 (再掲)		—			県民政策部 参画協働課
ひょうごボランティア 活動支援ネットの設 置	ひょうごボランティアプラザが、環境・まちづくり・青少年などの分野別支援または、各県民局に設置されている専門員と顔合わせから始まる場を設け、相互に情報の交換・共有を図り、分野別・地域別のボランティア活動体制の構築を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>県下9地域(神戸除く)において、地域別支援機関相互の顔合わせができた。</li> <li>神戸地域においては、地域別支援機関と合わせて、分野別支援機関相互の顔合わせができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各支援機関の持つ情報の共有化の促進</li> <li>特定の課題を設定し、関係する支援機関が参集して解決に取り組む。</li> </ul>	ひょうごボランティアプラザ運営事業委託費に含まれる	県民政策部 参画協働課
“こころ豊かな美しい 兵庫”をめざす県民運 動の推進	県民運動のさらなる広がりや深まりに向け、「こころ豊かな美しい兵庫」を新しい目標として、多様な主体の連携と協働のもとに積極的な展開を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人・団体・グループ・NPO等の多様な主体が自ら地域課題を発見し、課題に応じ重層的なネットワークを築きながら連携協働する“こころ豊かな美しい兵庫”をめざす県民運動の実践を提唱した。</li> <li>こころ豊かな美しい兵庫推進会議の事務局運営</li> <li>県民運動情報誌「ネットワーク」の発行(年4回)</li> <li>メールマガジン「県民運動E-news」の発行(月1回)</li> <li>こころ豊かな美しい兵庫推進会議構成団体数:124団体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>“こころ豊かな美しい兵庫”をめざす県民運動を展開する団体の増加や既存団体による新たな協働関係の構築等による県民運動のさらなる展開のための普及啓発。</li> <li>こころ豊かな美しい地域推進会議の活動を通じての県民運動の実践の提唱と支援(地域づくり活動支援事業、地域づくり活動サポーター設置)</li> </ul>	40,747	県民政策部 参画協働課

地域づくり活動サポーターの設置(サポーターズネットの構築)(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
地域づくり活動応援(パワーアップ)事業(再掲)		—			県民政策部 参画協働課、各県民局
ひょうごボランティア活動メッセの開催	<p>阪神・淡路大震災を契機としたボランティア活動の盛り上がり定着させ、さらに広げていくために、ボランティア活動団体の地域、分野、セクターをこえた交流・情報交換を促進するとともに、企業等資金提供者とのマッチングの機会を提供する。</p>	<p>・日時： 平成18年1月11日～16日 10:00～17:00 平成18年1月15日 10:00～17:40</p> <p>・場所：フレンド西宮、5Fフレンドホール</p> <p>・内容：「ボランティア・市民活動元気アップアワード」 元気アップ賞 4団体 こつこつ賞 11団体 「ボランティアステージ」「ふれあいマーケット」「地域活動パネル展」</p> <p>・参加人数：1,300名</p>	<p>・ボランティア活動に対する企業等の寄付のしくみの一つとして、「ボランティア・市民活動元気アップアワード」の拡充(冠賞の創設等)</p>	3,752	県民政策部 参画協働課
阪神・淡路大震災10周年記念事業の推進	<p>阪神・淡路大震災から10年の節目を迎え、これまでの創造的復興の歩みを振り返り、その成果を確認し、支援や励ましへの感謝の気持ちを表すとともに、未来へのステップを踏み出すため、被災地が一体となって、阪神・淡路大震災10周年記念事業を展開する。</p>	<p>NPO/NGO、団体、グループなどによる自主企画事業を含む、516事業が実施される見込み。</p> <p>・共同企画事業：106事業 ・自主企画事業：353事業 ・その他届出事業：67事業</p>	<p>震災10年神戸からの発信事業とも連携を図り、記念事業への参画を呼びかけた。</p>	1,108,720	企画管理部 防災企画局 企画課
「ひょうご安全の日」の推進	<p>阪神・淡路大震災の経験と教訓や多大な支援への感謝を内外に発信し、1.17を忘れずに語り継ぎとともに、安全・安心な社会づくりを記する日として定めた「ひょうご安全の日」(1月17日)に県民の参画のもと「ひょうご安全の日のつどい」を開催する。</p>	<p>県民(NPO、ボランティア等)の参画と協働により事業を開催、県民等4,800名の参加がある。</p> <p>・1.17ひょうごメモリアルウォーク(東西コース、自主計画コース)</p> <p>・1.17のつどい(HAT神戸)</p> <p>・交流ひろば、防災訓練また、各県民局において「地域のつどい」を開催。</p>	<p>県民の参画を推進し、引き続き実施していく。</p>	10,000	企画管理部 防災企画局 企画課
「1.17は忘れない」地域防災訓練等の実施(再掲)		—			企画管理部 災害対策課
子育て応援ネット	「資料編-1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			14,576	健康生活部 少子対策課

こどもの館三世代ふれあい交流事業	地域ぐるみで子育てに取り組むための支援体制を充実し、世代間を超えたふれあい活動によって総合的な子育て支援機能を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあいクラブ「館」(和楽器演奏、よさこい)活動 参加者数 (和太鼓) 延べ300人 (よさこい) 延べ132人</li> <li>・三世代ふれあいコーディネーターの養成講座 参加者数 延べ368人</li> <li>・三世代ふれあい交流サロン 12回開催 78団体出演 参加者数 延べ2,921人</li> </ul>	養成したコーディネーターの地域への派遣	3,255	健康生活部 児童課
里親制度の普及啓発シンポジウムの開催	里親や里子に対する理解を促し、さらには、新たな里親家庭を開拓し、里親委託の拡充につながるよう、広く地域団体等の参加と協力を得て取り組むためのシンポジウムを開催する。	参加者数380名	県内地域団体等へ幅広く参加を呼びかけし、多くの参加者を得た。今後は各地域への呼びかけを地域団体等へ働きかける。	500	健康生活部 児童課
里親制度の推進	家庭養護の促進をはじめ、里親里子交流や研修、養育相談事業等を通じて、着実に里親制度の推進・運営を図られるよう事業の展開を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里親制度の普及・啓発活動 新聞、ラジオによる制度の普及啓発や里親のさがし活動</li> <li>・里親里子交流研修会の実施 1回、参加者159名</li> <li>・週末里親事業 12名</li> <li>・専門里親事業、里親支援事業 被虐待児を養育する専門里親の養成 2名 新規里親登録者を対象とした基礎研修の実施 2回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里親や里子に対する正しい理解を促し、さらには、新たな里親家庭を開拓し、里親委託の拡充につながるよう、地域団体等への働きかけ</li> <li>・里親への養育支援体制の充実</li> </ul>	3,870	健康生活部 児童課
5R生活推進事業	「循環型社会形成基本法」「21世紀兵庫長期ビジョン」「ひょうご循環社会ビジョン」がめざす環境優先社会を推進するため、兵庫県5R生活推進会議や5R生活推進県民大会の開催、全県下での環境美化統一キャンペーンの実施等により、県民によるごみのない5R生活の形成を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域別5R生活推進会議に、生産・流通・消費・再生等にかかわる関係者が参加 86人</li> <li>・「ごみをへらすアイデア・標語」を募集 5,023人の応募</li> <li>・全県下で、環境美化統一キャンペーンを実施 (5/30～7/31)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5R生活推進会議や省資源省エネルギー運動・5R生活推進県民大会等の開催を通じ、県民による5R生活の形成を支援。</li> <li>・県下各地の美化活動にボランティアが参加。</li> <li>・キャンペーンの協賛団体の拡大。</li> <li>・地域別5R生活推進会議において、生産・流通・消費・再生等関係者が参加して減量化、再資源化について協議。</li> </ul>	3,917	健康生活部 環境整備課 (18環境政策課)
不法投棄を許さない地域づくり推進事業	平成12年度から不法投棄監視体制の強化に努め、年間不法投棄量の減少という成果を上げてきたことから、さらなる減少を目指し、早期発見、通報体制を強化するとともに、今後地域と連携して不法投棄防止策を講じる「不法投棄を許さない地域づくり推進事業」を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郵便局、JA、宅配業者との協定に基づく通報 8件</li> <li>・住民との合同監視パトロール 25件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民との合同パトロールの促進</li> <li>・地域住民主導の不法投棄未然防止活動地域の拡大</li> </ul>	2,178	健康生活部 環境整備課

コミュニティ・ビジネス創出・育成支援事業(再掲)		—			産業労働部 商業振興課
地域共生ビジネス離陸応援事業(再掲)		—			産業労働部 商業振興課
生きがいしごとサポートセンターの設置	コミュニティ・ビジネスやNPOでの就業などを新たに行おうとする者や既に行っている者への各種支援により、新しい価値観に基づく「生きがいしごと」での就業が可能となるよう、「生きがいしごとサポートセンター」を設置し、NPOにその管理・運営を委託する。	NPO法人に運営委託し、コミュニティ・ビジネス等での就業・起業等を行う者への支援等を実施。  入門相談件数 51,024件 来場者数 17,453人 起業団体数 107団体	新しい価値観に基づく就業・起業の育成・普及	91,725	産業労働部 雇用就業課 (18)しごと支援課
シニア生きがいしごとサポートセンター	生きがいを重視した働く場や活動の場を求める定年退職者等を総合的に支援することにより、高齢者のニーズに応じた活躍の機会の提供を行うため、「シニア生きがいしごとサポートセンター」を設置し、NPOにその管理・運営を委託する。	NPO法人に運営委託し、コミュニティ・ビジネス等での就業・起業等を希望するシニアへの支援等を実施。  入門相談件数 316件 来場者数 715人 起業団体数 9 団体	シニアに対する、新しい価値観に基づいた就業・起業での生きがいづくりの支援	3,485	産業労働部 雇用就業課 (18)しごと支援課
ひょうご勤労者ボランティアシステム推進事業	勤労者のボランティア活動への参画を促すため、情報提供及び、コーディネート(マッチング等)を行う。	勤労者のボランティア登録、活動  登録者数 704名 マッチング成立人数 195名	勤労者に対する、ボランティア活動の普及・啓発	13,131	産業労働部 雇用就業課 (18)しごと支援課
ひょうご美しいむらづくり推進事業	地域住民が主体となり、地域特性や地域資源を再認識し、地域固有の美しい景観や伝統的文化等を活用し、愛着と誇りを持つ魅力ある農山漁村づくりを推進する。	・新たにひょうご美しいむらづくりに取り組む30地区において、アドバイザー派遣による支援実施 ・美しいむらづくりの推進PRとして、代表集落の活動紹介やパネルディスカッションなどのフォーラム(参加者450名)を開催	・美しいむらづくりに取り組む新しい地区に対してアドバイザーを派遣するだけでなく、すでに取り組んでいる地区へのフォローアップが必要 ・アドバイザー派遣と合わせて集落のニーズに対する的確な支援を実施	2,900	農林水産部 農村環境課
ふるさとむら保全事業	都市住民が中山間地域の農村を対象としてボランティアで農作業などに参画し、共同作業などの活動を通じて農村の持続性を高めるとともに、ふれあいの場となるようボランティア会員(ふるさとむら会員)の育成を行い、H17年度までに2,000人の育成をめざす。	ふるさとむら会員の育成 666名	・都市農村の相互交流の推進 ・ふるさとむら集落のネットワーク化と活動情報の共有化 ・地域づくり活動などのコーディネート ・活動をバックアップするため実施調査を行い、特徴的な活動の情報発信	4,136	農林水産部 農村環境課

棚田地域集落支援事業	棚田地域の集落が連携し、快適で安全な地域の創造をめざすため、連携集落に共有する棚田や里山などの地域資源保全活動や生活環境の整備活動などの集落共同作業や、農山村コミュニティづくりに取り組む元気な女性グループ等の活動への支援をし、「人・もの・情報」の循環を目的に共通社会基盤(プラットフォーム)の整備を推進する。	わが村夢むら支援事業 5地区 元気な女性グループ 10グループ	支援事業のPR	1,750	農林水産部 農村環境課
多自然居住推進事業 (多自然居住支援サイトの運用)(再掲)	—	—	—	—	県土整備部 都市政策課
まちづくり支援事業 (再掲)	—	—	—	—	県土整備部 都市政策課
災害復興公営住宅高齢者元気アップ活動支援事業	NPO・ボランティアグループが、災害復興公営住宅で暮らす高齢者の元気アップや生きがいづくりのために地元自治会や支援者と連携・協力しながら行うふれあい交流事業を支援し、住民自らのコミュニティづくりにつなげていく。	災害復興公営住宅で暮らす高齢者の元気アップや生きがいづくりに取り組むNPO・ボランティアグループに対して補助金を交付 ・補助数:6団体	・被災地の全NPO法人に対し、募集チラシの配布を行い、幅広く制度趣旨の周知徹底	5,167	県土整備部 復興推進課 (18復興支援課)
子ども多文化共生教育支援事業の実施	日本語理解が不十分な外国人児童生徒への指導補助や生活適応、心のケアを行う非常勤嘱託員を当該児童生徒の在籍する学校へ配置するとともに異なる文化や価値観を有する児童生徒が一堂に会するフェスティバルを開催する。また、多文化共生の拠点としてセンターを整備し、相談業務等を実施する。	・子ども多文化共生サポーターの派遣 176校 ・子ども多文化交流フェスティバルの開催 参加者数 2,000人 ・子ども多文化共生センターの運営 ・子ども多文化共生ボランティアの養成 講座受講者数 113人	日本語理解が不十分な外国人児童生徒を支援するサポーターの派遣とボランティアの養成を推進	83,203	教育委員会 人権教育課
地域交通安全活動推進委員会との協働による交通安全活動の推進	公安委員会が委嘱した委員と協働による、①住民に対する交通安全教育②適正な駐車及び道路の使用方法について住民の理解を深めるための運動③その他交通の安全と円滑に資するための活動を推進する。	県下52の警察署の管轄区域に計893名の委員を嘱託し、交通事故防止キャンペーン、違法駐車追放キャンペーン等を実施した他、高齢者宅に訪問する交通安全教育活動を1,753回実施した。	現在の活動を継続的に実施するとともに、年々増加傾向にある高齢者の交通事故抑止のため、高齢者宅訪問活動や事故抑止のための活動を推進する。	10,697	警察本部
「地域ふれあいの会」による地域安全活動の推進	地域住民による地域安全活動を推進することにより、地域の自主防犯機能を高め、安全で安心できるまちづくりを実現するため、地域住民の中から警察署長が委嘱した「地域ふれあいの会」委員と交番・駐在所勤務員とが協働して地域安全活動を展開する。	・地域ふれあいの会201会 委員3,586人を委嘱 ・地域ふれあいの会委員による防犯パトロール、少年非行防止パトロール等 5,847回実施	現在の活動の継続強化	6,714	警察本部

新さわやかな環境づくり地域行動計画の推進	「新兵庫県環境基本計画」の推進に向け、県民、事業者、民間団体、行政などの各主体が地域の環境の保全と創造に協働して取り組んでいくための行動計画（県民局ブロックを単位とする10地域において策定）。	・県民、NPO等を主体とする推進委員会を設け、計画の着実な推進に向けた参画と協働のあり方を検討 ・環境保全・再生や環境教育・学習に係る各種事業を県民主体のもと実施	地域ビジョンの取組等とも連携しつつ、環境保全・創造、環境教育・学習に係る人材、資源のネットワーク化を推進	—	健康生活部 環境政策課、各県民局
六甲山活性化の推進	都心に隣接し、交通至便の地ながら豊かな自然に恵まれている六甲山の新たな魅力を引き出し、そのにぎわいの創出を図る。	・六甲山ガイドハウスの開館（H17.4.29～）六甲山自然保護センター年間利用者数対前年比178%の増加 ・ガイドボランティア「山の案内人」事業の実施（山の案内人登録者数 H18.3.31現在59人） ・六甲山自然保護センター運営協議会の開催（年2回） ・コーディネーターの駐在 ・ホームページ（六甲山楽しみ情報ボックス）へのボランティアからの情報提供 ・六甲摩耶観光推進協議会への参画	・六甲山の活性化に資するよう、県民の主体的な参画による県立六甲山自然保護センター運営を図るとともに自然保護センターの一層の機能強化を図る。 ・平成18年5月1日に六甲山地区が瀬戸内海国立公園編入50周年を迎えることから、六甲山の自然環境を生かした地域の活性化や適切な自然利用を図るため、国、市、観光・運輸事業者、NPO等と連携したイベントや広報を実施する。 ・六甲山上でのエコツーリズムの推進やジャズイベントの開催 ・六甲摩耶観光推進協議会への継続参加	2,912	神戸県民局 企画県民部 （健康福祉・環境担当参事）他
灘（六甲山～東部新都心）文化軸活性化の支援	「資料編ー1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			1,000	神戸県民局 企画県民部 企画調整担当参事
「子どもたちの出会い系サイト何でも相談電話」の実施	子どもたちが携帯電話等を媒介にした事件やトラブルに巻き込まれるケースが増えていることから、地元団体と協働し、小学校高学年の全児童及び中・高校の全生徒を対象にしたフリーダイヤルの相談電話を実施する。	「子どもたちのための出会い系サイト何でも相談電話」の実施 期間：平成17年9月～10月の毎週火・木・金・土の16時～20時 周知方法：電話番号を記載したポケットサイズのカードを配布	引き続き関係機関が協力し、子どもたちへのコミュニティ・ケア活動の一助とする。	1,000	神戸県民局 企画県民部 県民担当参事
神戸地域商店街等の活性化	商店街等が地域住民と一体となって行うコミュニティ事業等の実施を通じて、地域住民との新たな関係づくりを支援する。	・商店街が実施する地域防犯活動や地域の歴史・文化の発掘、発信活動などを支援 実績：5商店街	・支援終了後も事業継続できる活動基盤形成へ支援	1,207	神戸県民局 地域振興部 産業労働担当参事
「神戸ホスピタリティ度アップ・モデル事業」の推進	神戸の魅力を高め、「おもてなしの心」あふれるツーリストサービスを充実させていくため、駅前周辺などで観光ガイドボランティアグループ等が行う観光案内を支援する。	・観光ガイドボランティアグループや地元商店街等が行う観光案内を支援 実績：6団体	・観光ガイドボランティアグループや地元商店街等が行う観光案内を継続支援	930	神戸県民局 地域振興部 産業労働担当参事

学生による商店街の活性化支援	学生による商店街活性化活動が、商店街に新たな風を吹き込んでいくことが期待されていることから、学生が商店街等で行う活性化事業を支援するとともに、情報交換、ネットワークづくりの機会として交流会を開催する。	・学生グループが商店街・市場等と連携して実施する情報紙の発行やイベントの実施などを支援。情報交換・交流の場として交流会を実施 実績：7グループ	・商店街の活性化に向け、活動助成や交流会を継続実施	1,373	神戸県民局 地域振興部 産業労働担当 当事者
「コミュニティビジネスフェア2005」の開催	コミュニティ・ビジネスについて団体相互の交流を深め、情報交換等を行う場を提供することにより事業の定着、発展を支援するとともに、活動について広く県民の理解を深め、新たな参画を促進するため開催する。	・活動事例発表(10団体) ・講演会(四国アイランドリーグ代表 石毛宏典) ・活動展示・即売(24団体)	・平成17年度で事業終了	1,950	神戸県民局 地域振興部 産業労働担当 当事者
地産地消推進支援事業の実施	「大型直売所利用会員の会(仮称)」の組織化による生産者と消費者との「食と農の交流の場づくり」を始めとして、地産地消の質的向上を支援する。	・農産物直売所「六甲のめぐみ利用者の会」設立に向けた直売所応援団(花植え隊)を結成し周辺花壇の花植え活動実施 ・HPの作成、交流イベントの開催、直売所生産者協議会の設立を行い直売所の活性化を支援	・新たな農薬残留基準の施行等安全・安心な農産物生産支援。農産物直売所とタイアップし地域で漁獲された水産物の地産地消を推進するための魚食普及支援	1,000	神戸県民局 地域振興部 神戸農林水産振興事務所
「農都・神戸」づくりの推進	生産者と消費者が交流を深め、相互理解のもとに「食」と「農」と結びつきあえるまち、「農都・神戸」づくりを目指し、市内直売所における広報活動の充実と直売活動の活性化を支援する。	・県民、消費者に農都・神戸のもつ魅力を知ってもらうため、庁舎内(1階ロビー)に神戸産品の展示を行い、来訪者にPRするとともに、神戸市みよりの祭典に参加し、パネル展示やパンフレットによりPRを実施。	・県民・消費者の参画・協働による農都・神戸づくりの手段として、直売所の整備を進めているが、郊外型直売所が増加する一方、市街地の住民からは市街地内に直売所設置を求める声根強く、今後地産地消をさらに進めていく上での検討課題となっている。	1,600	神戸県民局 地域振興部 神戸農林水産振興事務所
参画と協働による「六甲の森づくり」	安全で自然豊かな都市空間を創出する六甲山系グリーンベルト整備の推進には、市民、NPO、行政等が主体性をもって、参画し協働できる仕組みが重要であるため、六甲山をフィールドに独自の活動を行っている人々とのネットワークを形成する交流会等を実施する。 地域の裏山の利活用方を住民とともに考え、実践していくために神戸市東灘区森北地区において、地域住民の参画によるコミュニケーション型県土づくりモデル事業を実施する。	・平成17年10月20日 人と自然の博物館主催のひとく神戸キャラバン2005と連携し、現地見学会「六甲グリーンベルトを歩く(観音寺地区)」を開催。活動団体、住民、行政等 参加者16名。 ・平成18年3月12日 六甲の森のなかまたち交流会を開催。人と自然の博物館と連携し、活動団体、住民、行政等 参加者約50名。 ・森北地区の森づくりについては、計2回の森づくりに関する勉強会を開催。住民等65名が参加。	・多くの県民の参画が得られるよう、引き続き交流会等を実施する ・森北地区の地元住民による森づくりについて、引き続き支援していく	4,552	神戸県民局 県土整備部 神戸土木事務所
阪神南花と緑のまちづくりシンポジウム	阪神南地域の緑化を推進する住民グループの参加を得て「阪神南花と緑のまちづくりシンポジウム」を開催。	260名の一般参加者を得て、シンポジウムを開催した。	平成17年度で事業終了	983	阪神南県民局 企画調整部 地域魅力づくり担当 当事者

ひったくり防止対策の推進	<p>阪神南地域は、ひったくりの発生件数が全県の4割以上を占め、大きな地域課題となっていたことから、平成15年度から、地域を挙げたひったくり防止のキャンペーン活動を展開している。その結果、平成16年度末には、14年度の約半分となっているものの、なお、全県の39%を占めている。</p> <p>各種グッズなどの配布を通じて、啓発に努めてきたところであるが、防犯ネットの抑止効果が高いという警察署からの報告もなされているところである。そこで、特に多発、増加している地域に対して重点的に防犯ネットなどの防犯グッズを配布することにより、これらの地域での予防活動を重点的に展開する。</p>	<p>阪神南ひったくり防止キャンペーン推進会議の開催 2回 延べ55人 ひったくり防止キャンペーンの実施 11回 延べ430人 啓発資材の作成・配布 かごネット ほか2種 約5000個</p>	<p>・地域の自治会、防犯協会、まちづくり防犯グループ等を巻き込んだ活動の展開</p>	500	阪神南県民生活部県民・環境担当参事 (18県民生活部県民担当参事)
フォーラム“のびよう！のぼそう！ひょうごっ子”	<p>若者に夢と感動を与える青少年健全育成フォーラム等を実施し、子どもを地域ぐるみで守り育てる機運を醸成するとともに、青少年が未来に夢を描けるような機会を創出し、「ひょうご青少年憲章」の理念の一層の浸透を図る。</p>	<p>開催の概要 ・18年1月22日(日) ・宝塚歌劇場(貸切) ・県内の小学生～20歳未満の青少年とその保護者 ・1部鼎談 2部歌劇鑑賞 ・2,482人</p>	<p>・フォーラムを通じ、華やかな宝塚歌劇の裏側には、厳しい下積み時代や日々の練習の積み重ねがあることを青少年に伝えることができた。 ・平成18年度は、フォーラムと各種団体等との協働によりキャンペーンを実施し、子どもを地域ぐるみで守り育てる機運の醸成を図る。</p>	8,700	阪神北県民生活部県民担当参事
地域環境力の向上による廃棄物不適正処理未然防止対策の推進	「資料編-1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			7,446	阪神北県民生活部環境担当参事
里山林活用支援事業～住民による北摂山地の里山整備～	<p>都市部に隣接する阪神北地域の里山を県民に紹介するとともに、里山保全に向け森林ボランティア活動への参加啓発・普及啓蒙による活動の充実を図る。</p>	<p>16年度作成の里山林再生マニュアルをわかりやすく解説したCD、パンフレット、パネルを作成。</p>	<p>マニュアルを活用し、ボランティア活動組織の育成、里山保全の普及啓発を図っている。</p>	1,920	阪神北県民生活部地域振興部宝塚農林振興事務所
ため池活用事業	<p>ため池の多面的機能を活用して、地域住民との交流の場を提供する。</p>	<p>・猪名川町上池を活用し、維持管理作業や農作業体験を通して都市と農村の交流を図る生き生きキャンペーンを開催。 参加者 50名</p>	<p>・ため池の持つ多面的機能の普及。 ・子供たちに、ため池への理解を深めてもらうよう参加を促進。</p>	623	阪神北県民生活部地域振興部宝塚農林振興事務所
いなみ野ため池ミュージアム創設プロジェクトの推進	「資料編-1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			30,146	東播磨県民生活部企画調整部水辺の地域づくり担当参事

なくそう不法投棄大作戦の展開	平成17年度に発足した「廃棄物エコ手形制度」を円滑に施行させるとともに、新たな不法投棄をさせないよう監視体制を充実する事業を展開し、関係業界及び地域住民と一体となって、不法投棄に対する意識の向上を図り、不法投棄を許さない地域づくりを推進する。	廃棄物エコ手形制度による第1回廃棄物撤去作業 ①加古川市志方町高畑 ②加古川市志方町西牧 撤去物 木くず等建設廃材、及び肥料原料撤去量計26t 参加者 計40名(処理業者、地域住民、行政) 協力会社:7社	不法投棄に対する意識の向上を図り、住民、エコ手方協力会社、行政の協働による不法投棄物の撤去を推進していくとともに、監視体制強化を充実するため、自治会との不法投棄監視協定の締結を推進していく。	—	東播磨県民局 県民生活部環境担当参事
東播磨新産業創出活性化事業	研究開発等に意欲的な企業が参画する「東播磨新産業技術交流研究会」の活動を継続して支援し、共同研究等による新分野進出、新製品開発といった、ものづくり産業の活性化を図る。また、既存の支援制度の対象とならない小規模な事業等への支援制度を継続することにより、中小企業の新たな取り組みに対して一層の促進を図る。	【月例交流会】 学識者等によるセミナー、会員企業からの共同研究の呼びかけ、自由な意見交換・交流会の開催 「アイデア発掘方法」他6回開催  【テーマ別別部会】 浄水汚泥の資源化……会員5社、県立工業技術センター、東播磨利水事務所から専門家と共同で研究(浄水場での汚泥を資源として商品化する研究)  【炭化綿(事業化)研究会】 製品化に向けた検討を開始。研究会で確保した焼成炉で作成した焼成物の機能検査等を実施。  【技術交流ミーティング】 地域企業と研究機関との橋渡しとなる場を提供する技術交流ミーティングを開催。  【東播磨新産業創出支援事業】 ・既存技術活用推進費 2件 ・特許、実用新案取得奨励費 2件	・大学等研究機関が持つ技術シーズを企業に紹介するとともに、企業の持つ潜在的なシーズ等について、大学等研究機関から評価、共同研究の提案を受けるなど、産学の技術シーズの利活用を図るための橋渡しを行う。 ・研究機関の専門家が各社を訪問し、技術ニーズを把握し、新製品開発のための技術支援を行う。	3,670	東播磨県民局 地域振興部産業労働担当参事
地域農産物等の加工品開発支援事業	地産地消の拠点となる直売所の品ぞろえを充実させるため、広く一般公募により選定した地元加工グループ等の地元農水産物を利用した加工品開発に対して助成を行う。	・3団体に支援 ・開発品目:天然魚の練り物、焼き餅、米粉カステラ等	・地域農水産物を理解し支援してもらうためには、地域の生産者と消費者をつなぐ親しみやすい地域特産加工品が必要であり、今後も加工品開発を支援。	494	東播磨県民局 地域振興部加古川農林水産振興事務所

農産物直売所における交流支援	地産地消の理解と啓発一環として直売所出荷農家と消費者が共に支え合う魅力ある直売所づくりを推進するため、両者の交流機会の企画、実践に対する助言等の支援を行う。	<p>【JAあかし「フレッシュ・モア」】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農作業体験(水稻、さつまいも)</li> <li>・加工教室(漬け物)</li> <li>・料理教室</li> <li>・店頭でのキャベツ焼販売</li> <li>・意見交流会</li> </ul> <p>【JA兵庫南「ふぁ～みんなSHOP」】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふぁ～みんなフェスタ</li> <li>・かす汁等の炊き出し</li> <li>・農作業体験(じゃがいも)</li> <li>・料理教室(そば打ち)</li> <li>・意見交換会等</li> </ul> <p>【JA加古川市南「ファーマーズ」】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JAフェスティバル</li> </ul> <p>【いなみ朝市実行委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝市通信の発行</li> <li>・アレンジフラワー教室等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消応援団(SASAE隊)として、消費者に地域農林水産業を支えてもらうよう、今後も直売所を核とした交流イベント等の実施を支援。</li> </ul>	—	東播磨県民局 地域振興部加古川農林水産振興事務所
北播磨 産業廃棄物の不法投棄等防止対策の推進	不法投棄が多発している地域において、地域住民主導による自主的な不法投棄未然防止活動を推進するため、不法投棄未然防止モデル地区を指定し、地域住民と関係機関が一体となって、不法投棄のない地域づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄未然防止モデル地区の指定:19地区</li> <li>・住民監視活動へ資材提供による支援:立て看板の設置等</li> <li>・住民監視員との合同パトロールの実施</li> <li>・不法投棄防止セミナーの開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不法投棄未然防止モデル地区の拡大</li> <li>・不法投棄未然防止協力事業所の指定</li> <li>・ネットワーク連絡会議を設置し、情報の共有化等監視活動の充実を図る。</li> </ul>	4,000	北播磨県民局 県民生活部環境担当参事
北播磨アグリビジネスの支援と地産地消の推進	農産物の加工・流通・消費に係ることから、グリーン・ツーリズムなどの人的な交流活動まで、農業・農村に係るすべての活動を通じて魅力ある北播磨のアグリビジネスの構築を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北播磨交流の祭典出展支援 10団体</li> <li>・アグリビジネス・ネットワーク研修 2回、191名参加</li> <li>・食と農のフォーラムの開催 320名参加</li> <li>・北播磨アグリビジネスネットワークマップの発行 10,000部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、農産加工グループを対象とした商品開発、加工技術、衛生対策、販売戦略等についてのアドバイザー派遣等による支援を行い、さらなる地域の特産品づくりを進める。</li> </ul>	1,970	北播磨県民局 地域振興部社農林振興事務所
北播磨の酒米「山田錦」の需要拡大	地域特産物である酒米「山田錦」の需要拡大を図るため、北播磨産山田錦の酒の消費拡大に向けたキャンペーン等に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「飲もう！贈ろう！北播磨山田錦のお酒」キャンペーンの実施 参加酒小売店 235店</li> <li>・山田錦フォーラムの開催 参加者 約300名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域酒造組合や小売酒販組合と連携して、引き続き山田錦の酒の消費拡大キャンペーン等に取り組むとともに、新たな消費層を増やすため都市部の女性を対象とした試飲会等を開催する。</li> </ul>	1,707	北播磨県民局 地域振興部社農林振興事務所
参画と協働によるまちづくりの推進	県のまちづくり施策のPR及び積極活用を図るとともに、まちづくり活動団体の交流により課題の共有や連携並びに意識高揚を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小野市、西脇市及び加西市において、まちづくりフォーラムを開催。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町自らのまちづくりに対するより一層の意識を高めるため、今後とも指導・助言をしていく。</li> </ul>	200	北播磨県民局 県土整備部まちづくり担当参事

「JR播但線」列車通 学生徒のマナーアッ プ運動事業	「資料編－1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照		5,100 (うち市町 負担1,700)	中播磨県民 局県民生 活部県民担 当参事	
NPO支援・地域ミニプ ラザ(NPO中間支援 組織)協働運営システ ムの構築	NPOの健全な育成に向けて、 NPO法人の設立・運営の円滑化等 に資するため「NPO設立講座」「NPO 運営相談会」を実施する。	・設立講座 6日延べ99 人 ・運営相談会 相談会9回 延べ26件 出前相談会 3回 3件	・18年度も、引き続き 設立講座・相談会を 実施。	650	中播磨県民 局 県民生 活部県民担 当参事
西はりま子育て応援 団の活動支援	西播磨地域で活動するグループ・ 人材を発掘し、子育て支援のニーズ に的確に対応できるよう「西播磨子 育て応援団」の拡充を図っていくと ともに交流会を開催し、関係機関・団 体の連携を強化していく。  ・ひろば事業の拡充 子育て中の親が集い、仲間づくり を通じて、子育ての悩みを解決し、 情報交換の出来る身近な拠点とな る多様な「まちの子育てひろば」の 開設や機能の充実を支援する。  以下、令達事業 ・「子どもの冒険ひろば」の開設 子どもたちの本来の遊び、集団で の体験活動を育み、生きる力を養う ため開設している。 ・若者ゆうゆう広場の設置 家庭や学校以外で、多様な若者 を受け止めるための居場所となる 「若者ゆうゆう広場」を運営する団 体・グループ等への活動を支援す る。	〔ひろば事業の拡充〕 ・まちの子育てひろば開設数:1 00カ所 ・西播磨版「まちの子育てひろば 通信」発行(9～11号:各号約2 500部発行) ・まちの子育てひろば応援団事 業の実施(18年3月現在27グ ループ) ・西はりま子育て応援団(14グ ループ) ・ひろばアドバイザー登録の推 進(18年3月現在21名) ・まちの子育てひろば交流会開 催(18年3月開催) ・西播磨子育て応援団との連携 (17年8月運営会議開催) 以下、令達事業 〔「子どもの冒険ひろば」の開 設〕 「夢と冒険のひろばしろう」 ・延開催日数:121日 ・参加延人数:3,027人 〔若者ゆうゆう広場の設置〕 ①「ゆうゆう缶★環☆館」 ・開設日:毎日10:00～19:00 ・延開催日数:358日 ・参加延人数:2,633人 ②「ゆうゆう龍野」 ・開設日:週3日(火・水・木) 13:00～16:00 ・延開催日数:161日 ・参加延人数:297人 ③ゆうゆうびあしんぐ(たつの 市、平成17年6月1日開設) ・開設日週3日(日・火・土)13:00 ～17:00 ・延開催日数104日 ・参加延人数	〔ひろば事業の拡充〕 ①まちの子育てひ ろば交流会開催 ②まちの子育てひ ろば応援団連絡会開 催 ③西はりま子育て 応援団との連携 ④ひろばアドバイ ザー派遣の充実  以下、令達事業 〔「子どもの冒険ひろ ば」の開設〕 事業の定着化を図る ため、モデル事業の 拡充、人材育成 (たつの市において1 カ所新設申請手続 中)  〔若者ゆうゆう広場の 設置〕 開設個所の増設 (赤穂市において1カ 所新設申請手続 中)	117	西播磨県民 局 県民生 活部龍野健 康福祉事務 所、西播磨 県民局県民 生活部県民 担当参事
小規模作業所等自立 支援事業	厳しい社会情勢の中、企業への企 業への就業促進や在宅福祉の充実 との観点から福祉滝就労の場の確 保が求められている。このため障害 者の雇用環境の改善や授産施設・ 小規模作業所の整備を促進し、障 害者の社会参加と誰もが安心して 暮らせるユニバーサル社会の実現 を目指す。	・障害者の社会参加促進 ミニフォーラムの開催 H18.2.5(日)参加者約 300人 ・授産施設・小規模作業 所の運営基盤の強化事 業 ・授産施設・小規模作業 所ネットワーク会議(4回) ・授産製品等の普及・啓 発支援事業 ・授産製品の開発指導 ・大型店の協力を得、 セーフティーネットワー ク活動域を拡張	・授産施設・小規模作 業所ネットワーク会議 の継続 ・県民局内各庁舎及 び管内市町にショー ケースを設置し、小 規模作業所の製品の 展示 ・授産施設等による 花いっぱい作戦	1,495	西播磨県民 局 県民生 活部龍野健 康福祉事務 所

「南但馬歴史・文化ミュージアム」の推進	近畿圏最大級の茶すり山古墳を中核とした交流拠点の整備や既存地域資源のネットワーク化を進め、南但馬地域をはじめとする但馬地域の活性化や歴史文化を生かした交流促進を図るため「南但馬歴史・文化ミュージアム構想(仮称)」を策定し、構想の実現に向けた総合的なフォローアップを行う。また、豊かな地域資源を活用し、地域が一体となって花と緑による魅力ある農山村の景観づくりの推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝来市に事務局を置き、住民、関係団体、行政で組織する「南但馬歴史・文化ミュージアム推進協議会」を設置 開催回数 3回</li> <li>・中核交流拠点のイメージキャラクターを募集・決定 応募総数 140点</li> <li>・イメージキャラクターの愛称を募集・決定 応募総数 307点</li> <li>・周遊ガイドマップを作成し、都市住民との交流促進を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中核交流拠点のオープニングイベントを地域住民・団体の参画のもと開催</li> <li>・都市住民との交流促進を図る周遊バスツアーを検討</li> <li>・朝来市においてコミュニティバスの運行を検討中</li> </ul>	1,793	但馬県民局 企画調整部 企画調整担当参事
コウノトリと共生する地域づくりの推進	「資料編ー1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照		4,437	但馬県民局 企画調整部 コウノトリ翔る地域づくり担当参事	
但馬地域鉄道利用促進事業の推進	利用人員の減少、ダイヤの減便等様々な課題を抱える但馬の鉄道について、行政、地域関係団体、鉄道事業者が一体となり、地域あげでの普及啓発に取り組み、地域住民や来但者に鉄道の利用を促す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道利用促進キャンペーンの実施</li> <li>・鉄道絵画の募集(小・中・高校生)応募総数114点</li> <li>・鉄道を利用したイベントへの支援 参加者160人</li> <li>・利用促進啓発カレンダーの作成 3,000枚</li> <li>・利便性向上対策調査の実施</li> <li>アンケート調査の実施</li> <li>利便性向上施策の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用促進の啓発</li> <li>・調査・検討に基づく「駅活性化事業」「利用促進事業」を推進(実施例)</li> <li>○コミュニティバスの運行検討</li> <li>○駅周辺の植栽、清掃、美化</li> <li>○駅を活用したイベント実施等</li> </ul>	550	但馬県民局 企画調整部 コウノトリ翔る地域づくり担当参事
たじま「子育て」ネット行動プログラムの策定	たじま「子育て」ネット(H16設立・41団体・機関で構成)自らの行動計画として平成17年度に策定されたたじま「子育て」ネット行動プログラムに基づき、同ネットと協働しながら地域ぐるみによる少子化・子育て支援対策の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たじま「子育て」ネット行動プログラム策定委員会(学識者、子育て支援関係者等17名で構成)によるプログラム策定 委員会開催回数:3回</li> <li>・ワークショップ、部会等の開催 開催回数:5回</li> <li>・機関紙の発行 発行回数:4回</li> <li>・ホームページの開設</li> </ul>	プログラムでは、子育て支援のための人材育成事業、情報提供・普及啓発事業などを重点行動として位置づけており、ネットの支援を図るなど協働しながら取り組みを進める。	2,653	但馬県民局 県民生活部 県民担当参事
但馬長寿の郷づくり協議会の運営	超高齢化社会を先取りしている但馬地域に、高齢者を始めとするすべての人々が自己の個性と能力を最大限に発揮し、生きがいを持って生涯を過ごすことができる長寿社会の理想郷を創出する。	但馬地域の行政・関係団体で組織する「但馬長寿の郷づくり協議会」で同協議会が実施する事業計画等について協議を行う。 開催数:総会1回、役員会1回、部会2回 委員数:89団体	行政・関係団体の参画と協働による各種課題や事業企画の協議	936	但馬県民局 但馬長寿の郷企画調整課

花と緑による南但馬地域景観創出事業の推進	但馬の玄関口となる南但馬地域において、交通の主要拠点(IC・SA)や交流拠点施設を中心に、集落ぐるみで花と緑を生かした景観づくりを行い、魅力ある地域を創出する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落景観づくりの取り組み(継続地区・14地区)</li> <li>・集落景観づくりの取り組み(新規地区・8地区)</li> <li>・簡易花壇苗等供給施設の設置(朝来市・2棟360㎡)</li> <li>・間伐材活用プランターの設置(229基ほか)</li> <li>・推進大会の開催(出席者94名)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国体会期における花づくりの啓発(推進大会)</li> <li>・取組集落の拡大</li> <li>・間伐材活用プランターによる花づくりの推進</li> </ul>	15,534	但馬県民局 地域振興部 和田山農林振興事務所
北但馬グリーン・ツーリズム推進事業	北但馬地域における都市と農山漁村の交流を促進するとともに、都市及び北但馬地域の住民に対して「グリーン・ツーリズム」の推進と普及啓発を行い、北但馬地域における農林水産業とツーリズム振興並びに地域の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報宣伝、体験旅行、直売交流の3つの専門部会を設け、それぞれに取り組みを行った。</li> <li>・北但馬グリーンツーリズムガイドブックの作成10,000部</li> <li>・わが町PRバス旅行企画及び実施 参加者 462名</li> <li>・直売所魅力アップ講演会 参加者 80名</li> </ul>	グリーンツーリズム関連交流拠点施設を継続的に県民へ広報するとともに、県民ニーズに合致したソフト面での改良を検討する。	1,600	但馬県民局 地域振興部 豊岡農林振興事務所
グリーンツーリズムの推進	多彩なツーリズム資源を生かした都市と農村の多様な交流による新たなツーリズムモデルを構築するとともに、創設された構造改革特区制度を活用しながら、但馬で展開されている関連事業との一体的な取り組みにより、地域の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな農家民宿の開設1件</li> <li>・特区制度を活用したどぶろく製造業者及び一般県民参加によるどぶろく研究会の開催 参加者 250名</li> </ul>	引き続きグリーン・ツーリズム特区制度の普及及び啓発を行う。また、特区制度を活用した市民農園、農家民宿、どぶろくについて、より一層県民へのPRを行う。	396	但馬県民局 地域振興部 豊岡農林水産振興事務所
但馬産ひょうご安心ブランド農産物の産地育成	平成16年度に新たに「ひょうご安心ブランド農産物」の認定を受けた品目のうち、但馬地域内での流通を確認できるものについて、残留農薬自己分析経費を助成する。	事業計画認定団体数:12 事業計画認定品目数:16	環境に配慮した減農薬及び無農薬による栽培が広く行われ、残留農薬自主分析件数が減少したことに加え、県指定の分析機関において安価に分析できることになったため、17年度で当事業を終了する。	465	但馬県民局 地域振興部 豊岡農林振興事務所
南但馬の食材を活用したふるさと料理創作支援	南但馬地域では、但馬牛、有機野菜、岩津ねぎ、黒大豆などの豊富な食材が生産されているが、地域をイメージさせる郷土料理がなく、都市と農村の交流人口の増加を図るには、新たな“ふるさとの料理”を創作し提供するG・T関係飲食業者やスローフードの里づくり協力店を認証する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南但馬ふるさと料理創作塾の開催(2回 116名)</li> <li>・ふるさとの料理コンテストの開催(応募 41点)</li> <li>・ふるさとの料理評価会(G・T交流会(参加者 140名))</li> <li>・スローフードの里づくり協力店認証(28店)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スローフードの里づくり協力店の認証</li> <li>・グリーンツーリズムガイドマップの作成</li> <li>・スローフードの里づくりの推進(G・T交流会)</li> </ul>	2,634	但馬県民局 地域振興部 和田山農林振興事務所

たんばふれあい交流の推進	鐘ヶ坂バイパス(平成のトンネル)の開通を契機に、丹波地域の交流、連帯を深め、一体的な発展が図られるよう「人・もの・文化ふれあい交流」をテーマとして開通を記念したイベントを行う。	11/20国道176号新鐘ヶ坂バイパス周辺で「たんばふれあい交流イベント」を開催。 ・記念植樹 ・夢風船とばし ・トンネルハイキング(スタンラリー) ・路上イベント ・両抗口からの夢たすき結び ・トンネルマーケットほかを実施 来場者数約12,000人	平成17年度で事業終了	5,121	丹波県民局 県民生活部 総務調整担当
丹波の森づくりサポート制度の推進	人と自然と文化が調和した地域づくり「丹波の森づくり」をすすめている。これをすすめるには、地域外に住む多くの人々との交流や連携が重要と考えられる。そこで、一定期間集落に滞在し、様々な体験、研究が出来る機会をつくりその成果を地域へ提言する。	・調査実施回数 4回 ・アンケート回収 101人 ・事業実施 (財)丹波の森協会	・篠山・丹波両市と都市住民との交流事業に参加する都市住民にアンケート調査を実施。 ・得られた意見・提言等を集計、分析し、地域に還元	583	丹波県民局 企画調整部 丹波の魅力づくり担当 参事
丹波食文化発信事業	丹波地域の生産者、加工業者、流通業者、観光関連業者等を構成員とする「丹波食文化発信機構」を設置し、「おいしくて安心できる丹波の食文化」を全国に向け発信し、丹波地域の農林業をはじめ地域産業の活性化を図る。	・各種イベントでの出店の充実 ・年度末会員数 31 ・年度末認証商品数 85	・会員数の増強 ・認証商品数の増強 ・情報提供の充実	0	丹波県民局 地域振興部 柏原農林振興事務所
丹波まちづくり支援事業	緑条例の計画整備地区制度を活用して、集落単位で住民主体のまちづくりを展開している。これを積極的・効率的に展開するには、行政と住民の間で触媒の役割を果たすNPO等の活動が不可欠であるので、このようなNPO等を支援する。	支援地区=6地区	・緑条例の計画整備地区制度など、施策への展開 ・公募などによる、より幅広い連携先の確保	450	丹波県民局 県土整備部 森のまちづくり担当 参事
丹波の森フェスティバル事業	丹波地域の伝統文化の継承・発展を図るとともに、地域住民をはじめ、各種団体や企業、市町など丹波地域の各階各層が取り組む様々な活動成果の発表や生涯スポーツ大会を通じた相互交流の機会として開催する。	・総合イベント 10/22,23開催 19,000人 ・文化イベント 11/23,26,27開催 2,070人 ・スポーツイベント 7/30,8/21,27,28, 11/13開催 847人 ・食文化発信事業 11/6開催 1,600人	平成18年度は「ふれあいの祭典」が丹波地域で実施されるため、文化イベント、スポーツイベントを実施する。平成19年度以降は、新たな取り組みをふまえた展開が必要となってくる。	5,199	丹波県民局 県民生活部 県民担当 参事
ゴミのないきれいな丹波の森づくり	テレビなどクリーン作戦では対応できない大型ゴミを撤去し、ゴミを捨てさせない地域づくりに取り組む自治会に対し、事業費を補助する。	篠山市本郷自治会等10自治会が以下の事業を実施 ・不法に投棄された廃タイヤ・廃家電等の撤去 ・不法投棄パトロール ・投棄防止ネットの設置 ・看板の設置、チラシの配布による啓発	「丹波の森構想」の理念である「自然や文化を大切にしたいまちづくり」のための、体験・交流型環境学習の場として、事業を推進する。	1,646	丹波県民局 県民生活部 環境担当 参事

丹波交流ネットワーク事業	交流農業を実践している農家・集落営農組織・農産品の流通加工団体・観光団体の組織化を図り、交流農業に関する情報の提供や都市住民との交流のための体制を整備して、丹波農業の新たな活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・のぼりの配布(350本)</li> <li>・交流マップの作成(15、500部)</li> <li>・ホームページの開設</li> <li>・会員の勧誘(会員数72人)</li> </ul>	拠点施設の整備 広報PR 交流農業支援 田んぼのオーナー制の導入	2,745	丹波県民局 地域振興部 柏原農業改良普及センター
山仕事ふれあい支援事業	京阪神から近い丹波地域の特性を生かし、里山や農山村への関心の高い都市住民と地域住民との協働により、丹波の森づくりを図るとともに、都市農村交流を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐枝打ち体験学習 11/12,13開催 17人</li> <li>・里山林整備体験学習 1/22開催 40人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山オーナーとの連絡調整</li> <li>・森林ボランティア団体との連携</li> </ul>	636	丹波県民局 地域振興部 柏原農林振興事務所
むらしごと支援事業	農村への関心の高い都市住民の参画と協働のもと、新しいふるさとづくりと都市農村交流の進展を図るため、「ふるさとむら保全活動」に取り組もうとする集落等を対象に、活動開始に必要な経費に対する助成を行う。	助成実施地区 3地区	「ふるさとむら保全活動」の実施状況を踏まえて検討する。	750	丹波県民局 地域振興部 柏原土地改良事務所
参画と協働による美しい淡路づくりの推進	県民一人ひとりが自己責任のもとに自ら考え、地域から行動し、県民と県政が力を合わせ、パートナーシップの確立のもとに県行政の推進と地域社会の共同利益の実現を目指す参画と協働の理念のもと、地域づくり活動を積極的に推進するとともに、参画と協働による地域独自事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全淡路女性会議の開催 淡路島内の女性が一堂に会し、交通安全について意見交換 参加者220名</li> <li>・条例の普及・啓発の継続的な実施 参画と協働の推進に係る出前講座の実施。 参加者延べ132名</li> <li>・さわやかあいさつ運動の支援 「こころ豊かな美しい淡路推進会議」「淡路女性団体連絡会」が推進団体となり、あいさつ運動を積極的に展開。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民の多彩な参画と協働による地域社会の共同利益の実現と県民とともに歩む県行政の推進をめざし、県民の参画と協働の推進に関する条例の理念の継続的な普及・啓発</li> <li>・各地域団体が実施する地域づくり活動への支援</li> </ul>	492	淡路県民局 県民生活部 県民担当参事
あわじ菜の花エコプロジェクト推進事業	「資料編－1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			4,500	淡路県民局 県民生活部 環境担当参事
淡路環境美化月間の推進	毎年7月と11月の「淡路全島一斉清掃の日」を含む1カ月間を「淡路環境美化月間」とし、清掃活動や花づくり運動などの環境美化運動を展開するとともに、ごみの減量化や地球温暖化防止対策など人類の持続的発展を可能とする生活様式への転換を図る取り組みについて普及啓発を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「淡路全島一斉清掃」の実施 7月10日(第2日曜日)11月13日(第2日曜日)</li> <li>・ポイ捨てをなくす美しい島づくり条例等の理念の普及啓発</li> <li>・淡路公園島憲章の浸透を通じた花づくり運動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会組織が中心として全島民が取り組むことにより地域の活性化</li> <li>・児童生徒も参加することによる環境教育の推進</li> </ul>	1,000	淡路県民局 県民生活部 環境担当参事

<p>あわじ総合緑花プランの推進</p>	<p>あわじ総合緑花プランは、あわじ花回廊計画の後継計画として、民間の花づくり組織の代表者及びNPO団体等と行政が入ったワークショップの開催を通じて作成した、淡路の今後10年間の緑花活動の方針を示すものである。</p> <p>同プランの推進に際しては、推進フォーラム、推進会議等の開催を通じてプランの普及を図り、緑花学習教室の開催、各種イベント向けの沿道緑花やオープンガーデン開催支援などの地域活動との連携・支援を行う。また、自生植物に着目した沿道緑花を推進するため、パンフレットの作成や自生植物活用推進に対する助成を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あわじ総合緑花プランの普及啓発パンフレットの作成及び配布(5,000部)</li> <li>・あわじ総合緑花プラン推進フォーラムの開催(200名)</li> <li>・あわじ総合緑花プラン推進会議の開催(1回)</li> <li>・あわじオープンガーデンの開催支援(ガイドブックとガイドマップを3,000部作成。また、兵庫花と緑のまちづくりフォーラムを共催)</li> <li>・淡路の自生植物紹介パンフレットの作成及び配布(2,000部)</li> <li>・緑花学習教室の開催(中川原中学校をはじめ合計10回)</li> <li>・県立淡路景観園芸学校への自生植物調査研究の委託</li> </ul>	<p>あわじ総合緑花プランを推進するため、民間の花づくり組織と緑花関係機関及び行政等を構成員とする「あわじ総合緑花プラン推進会議」を昨年度に立ち上げ、各々の事業の連絡調整及び連携強化を図っていきこうとしているところである。</p> <p>・公民が同じ目線に立って協議し、行動に結びつける場として同推進会議を有効に活用しながら、公民共通の課題である「持続可能な淡路らしい緑花」に取り組んでいく。</p>	<p>3,963</p>	<p>淡路県民局 県土整備部 まちづくり担当参事、淡路県民局 県民生活部 環境担当参事</p>
<p>人と自然が共生できる、ゆずるはの森元気アップ作戦の展開</p>	<p>平成15、16年度に策定された「論鶴羽山系総合プラン」実現に向け、人と自然が共生できる森づくりを基本方針に、豊かな自然環境を守り育てる「保全」、やすらぎと恵みをもたらす自然環境を創造する「利活用」、本来の森林がもつ災害防備機能を回復する「防災」を環境整備の基本軸として展開していく。</p> <p>(概要)</p> <p>(1)豊かな自然環境を守り育てる「保全」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「里山防災林整備」</li> <li>・漁業者の森づくり など</li> </ul> <p>(2)やすらぎと恵みをもたらす自然環境を創造する「利活用」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緑の少年団地区交流集会</li> <li>・ダムフェスタ など</li> </ul> <p>(3)本来の森林が持つ災害防備機能を回復する「防災」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ため池整備事業</li> <li>・復旧治山事業 など</li> </ul>	<p>保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業者の森づくり(漁業者の森の保育事業)</li> <li>・学校林の環境教育実践推進事業</li> <li>など</li> </ul> <p>利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全隊(エコレンジャー)</li> <li>・緑の少年団地区交流集会</li> <li>・ダムフェスタ</li> <li>・論鶴羽自然体験プログラム</li> <li>など</li> </ul> <p>防災</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・復旧治山事業</li> <li>・保安林改良事業</li> <li>など</li> </ul>	<p>森林ボランティア活動や自然観察会等を通じて、行政・市民活動グループ・地域住民・学校・有識者等のネットワークの形成・展開を図り、地域住民主導の保全管理活動を形成する</p>	<p>691,363</p>	<p>淡路県民局 地域振興部 洲本農林水産振興事務所</p>
<p>海に見える美しい棚田づくり～“くにうみの里”づくり～の推進</p>	<p>ほ場整備など集落全体が参加する事業をきっかけにして、集落が誇りを持ち、自らの手で地域を守り育てていく人材の育成(ひとづくり)と地域の主産業である農業を中心とした生活基盤づくり(むらづくり)を進め、活力ある淡路の地域(くにうみの里)づくりを目指す。</p>	<p>ワークショップの開催 4回</p> <p>地域イベント、交流イベントの開催 2回</p> <p>集落営農組織の設立</p> <p>むらづくり構想の策定</p> <p>ほ場整備の実施</p>	<p>ほ場整備完了後を見据えた担い手の確立と世代を越えた集落内交流、さらに自らの手で里づくりを行うことで地域への愛着をもつことへの心の醸成</p>	<p>既定予算</p>	<p>淡路県民局 地域振興部 洲本土地区改良事務所</p>

■ 県民同士が議論を重ね、合意に至る過程を支援するため、自治意識の高まりに基づく新たなしくみの検討等、県民の主体的な取り組みを支援します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成17年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H17事業費 (千円)	担当課
生活復興推進連絡会議の設置	震災復興時の生活復興県民ネットの貴重な絆とノウハウを継承していくため、この構成団体などによる緩やかなネットワーク(連絡会議)を形成し、各団体の被災者支援活動の展開と協働を支援する体制を整える。	地域活動コーディネーター(3名)を配置 地域活動団体等からの情報収集やホームページや情報誌による情報発信	引き続き地域活動コーディネータを配置し、同様の情報発信を行うとともに、学生やシニア層のボランティア活動の支援強化	11,735	県民政策部 参画協働課

■ 地域づくり活動に関する情報の発信、交流の機会の充実等を通じて、兵庫県や地域に縁や関心がある多様な人・団体のネットワークづくりを支援します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成17年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H17事業費 (千円)	担当課
地域ビジョン委員会の設置・運営	地域ビジョンの実現に向け、公募による地域ビジョン委員等で構成する地域ビジョン委員会を設置し、その活動(ビジョンのフォローアップ、県民行動プログラムの取りまとめ、ビジョン実現に向けた各委員の取り組みなど)によりビジョンの推進を図る。	・第3期地域ビジョン委員会の設立 ・地域ビジョン推進プログラム(第2期)策定の取り組み ・県民行動プログラムの実践活動の展開	・地域ビジョン推進プログラム(第2期)の推進	14,853	県民政策部 ビジョン担当課長(18 ビジョン課)、各県民局
地域ビジョン委員のOB会(総称)	地域づくりに対する熱意や実践活動で蓄積されたノウハウを、地域夢会議への参画や独自のプログラムの取り組みなどに生かし、地域ビジョンの活動を支援する。	・OB会員同士の交流会や現ビジョン委員に体験談を発表する交流フォーラムの開催 ・OB会独自のホームページによる情報発信	・地域ビジョンの活動を支援。	1,500	県民政策部 ビジョン担当課長(18 ビジョン課)、各県民局
ひょうご交流社会創造ビジョンの推進	「ひょうご交流社会創造ビジョン」に基づき、県民や地域が、相互に交流、連携、補完、共生しあう多彩な交流社会の実現に向け、水辺や森、まちやむらなどをテーマにした交流と連携のきずなを深める地域連携モデル調査を実施するなど、課題解決型の交流・連携の地域づくり活動支援のための施策を展開する。	フォーラムへの参加、支援 ・まちづくり仕掛人東西対決(主催:ひょうごふるさとづくり交流会議 参加人数:100人) ・まちづくり・むらづくりオンラインワングランプリ(主催:ひょうごふるさとづくり交流会議、〈特〉たんばぐみ 参加人数:200人) ・農と共生するLOHASな暮らしフォーラム(主催:同実行委員会 参加人数:120人)  神戸大学農学部地域連携センターとの共同研究	・課題解決型の交流・連携の地域づくり活動を活性化するための支援の充実させる(テーマ型活動とコミュニティレベルの活動とが連携するための仕掛けづくり等)	1,452	県民政策部 地域担当課長(18地域振興課)
棚田保全ボランティアによる棚田保全活動の推進	都市住民が棚田における農作業を体験し、地元農業者と交流する機会を提供することにより、棚田保全に対する応援の輪を広げる。	・棚田保全ボランティアの新規登録99人 ・研修会の開催数4回、受講者数134人	・棚田地域の連携 ・既存組織の活用 ・地域資源の有機的連携による資源の活用	1,419	農林水産部 農村環境課
棚田地域集落支援事業(再掲)		—			農林水産部 農村環境課

地域ビジョンサポートクラブの運営	地域ビジョン委員OBなどを地域ビジョンサポーターとして登録し、地域ビジョンの実現に向けた「県民行動プログラム」に基づく実践活動の推進状況などを情報発信することにより、地域ビジョンに関心を有する県民のネットワークづくりを進める。	・夢会議の案内 2回 ・ビジョン委員会広報誌(夢じゃーなる)送付 2回 ・ビジョン交流会の実施(参加者) ビジョン委員 51名 ビジョンパートナー 5名 ・たまり場の提供 3回	ビジョン委員とビジョンパートナーとのより一層の交流を進め、参画と協働の推進を図る。	348	阪神北県民局企画調整部企画調整担当参事
北播磨交流の祭典～きらっと北播磨 交流大舞台2005～の開催	「資料編-1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			194,460	北播磨県民局 企画調整部 交流企画担当参事
兵庫・岡山県際交流の推進	兵庫、岡山県際に隣接する地域の連携・交流を促進し、県際地域の活性化を図るため、共同広報や連携・交流事業を実施する。	・県際交流バス 7件 ・岡山国体本大会、兵庫国体リハ大会でのマスコット交流派遣(9会場) ・イベントへの出店(フロンティア祭他3)	・行政レベルの取り組みを、民間レベルにつなげ、住民の交流活動の一層の活発化	356	西播磨県民局企画調整部企画調整担当参事 (18)企画調整・市町担当参事
西播磨フロンティア祭2005(第4回出る杭大会)の開催	意欲ある人・団体の社会的認知・応援のため、西播磨フロンティア祭のイベントにあわせ、地域ビジョン委員が実施主体となって実施する「出る杭大会」の開催を支援する。	・ブースでのプレゼンテーション(44団体)、舞台でのパフォーマンス(16団体) ・地域ビジョン委員による「出る杭大賞」の選定 ・行政の出る杭、18機関の参加 ・来場者約1万人	西播磨地域ビジョン推進プログラムのシンボルプロジェクトの主要事業に位置づけ、地域ビジョン委員、OB、地域活動団体等との協働のもと、さらなる充実発展に取り組む	—	西播磨県民局企画調整部企画調整担当参事 (18)企画調整・市町担当参事
兵庫・鳥取県際交流の推進(国道29号周辺地域の活性化)	兵庫県と鳥取県の国道29号周辺地域の市町及び民間団体等との協力と連携の下に、自然・歴史・文化及び産業等の優れた地域の特性を生かした広域的な取り組みを通じて、地域の振興を図るため、平成15年4月、「国道29号周辺兵庫・鳥取地域振興協議会」を設立し、各種事業を展開している。	・福ロード協賛店の募集 申込店舗21店舗 ・広域観光マップの発行 15,000部 ・都市部でのPRイベントの実施 平成17年10月9日 場所:神戸刈ヶ丘パーク広場 内容:国道29号周辺地域のPRパンフレットの配布、特産品販売 ・フォトコンテストの実施 応募総数:35名、68点 ・花の郷づくり(さくらの植樹) 平成17年11月13日(日) 場所:鳥取県八頭町 参加者:国道29号ふれあいバスツアー参加者 ・国道29号周辺ふれあいバスツアーの実施 平成17年11月13日(日) 参加者:兵庫県7名、鳥取県15名	関係市町と民間団体等の協力のもと各種事業を展開するとともに、地域住民の参加による活性化事業を実施する。	3,955	西播磨県民局 地域振興部産業労働担当参事

□活動を総合的に支える中間支援組織を支援します

■多様な中間支援組織との情報共有のしくみづくり等を通じて、中間支援組織のさまざまな活動や機能充実に支援します

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況(平成17年度)	参画と協働の課題と今後の取り組み方向	H17事業費(千円)	担当課
ひょうごボランティアプラザの運営(再掲)		—			県民政策部 参画協働課

中間支援活動助成	ネットワーク構築、調査研究、講座等の開催、相談事業等を行うとする中間支援活動のレベルアップを図る。	助成件数 5件(1件1,000千円)	中間支援機能を有するNPO法人等の活動基盤の強化	6,000	県民政策部 参画協働課
“こころ豊かな美しい兵庫”をめざす県民運動の推進(再掲)		—			県民政策部 参画協働課
地域づくり活動応援(パワーアップ)事業(再掲)		—			県民政策部 参画協働課、各県民局
都市農村交流連携促進事業	市民農園や山村滞在、その他交流活動の受け入れ希望側と利用希望側との結びつけや、農家側と消費者側との産消提携等、都市側と農村側のそれぞれのニーズの把握や両者のマッチングを行うNPO等の団体の活動に対して支援を行うことにより、都市と農村の交流、連携を図る。	「田舎暮らしのサポートと定住促進」を行うNPO法人ほか4NPO法人に対して助成金を交付	事業内容のさらなる周知徹底による応募NPO団体の拡大	1,000	農林水産部 総合農政担当課長(18) 総合農政課
東播磨地域づくり倶楽部の支援	東播磨地域ビジョンの実現を目指す地域づくり活動の活性化やネットワーク化を図るため、地域づくり活動の連携を図る情報交流会の開催のほかメンバー相互の情報交換、その他活動連携の支援を行う。	・情報交流会の開催(月1回)	情報交換会の定期的開催のほか、地域づくり活動の活性化やネットワーク化のための活動を検討していく。	—	東播磨県民局 企画調整部企画調整・市町担当参事

□各地域での総合的な支援拠点機能を充実します

■生活創造センター構想の推進など、各地域(県民局単位)における総合的な生活創造支援拠点機能の充実を図ります

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況(平成17年度)	参画と協働の課題と今後の取り組み方向	H17事業費(千円)	担当課
生活創造センター構想の推進(再掲)		—			県民政策部 生活創造課
地域生活創造情報プラザの設置・運営(北播磨生活創造情報プラザの設置)	県民が、自分のくらしを高め、主体的に参画しながら、成熟社会にふさわしい新しいライフスタイルづくりを実践していくことができるよう、神戸生活創造センターや丹波の森公苑の運営をするとともに、文化会館や生活科学センター等において「地域生活創造情報プラザ」を整備・充実し、地域文化や消費生活をはじめ、子育て・青少年、男女共同参画、健康福祉、環境など多彩な分野の生活創造活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活創造センターが整備されていない地域には、文教府、文化会館、生活科学センターなどに地域生活創造情報プラザを設置し、生活創造活動コーディネーター(各1名)、生活創造応援隊(各20名程度)を配置</li> <li>・地域生活創造情報プラザ登録グループ数 但馬文教府 73 西播磨文化会館 71 淡路文化会館 94 東播磨生活科学センター 78 姫路生活科学センター 50 神戸生活創造センター432 丹波の森公苑 100</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民が主体的に取り組むさまざまな活動を総合的に支援する拠点として、生活創造センターの整備</li> <li>・同プラザが中心となり、各県民局や市町、NPO/NGOや多様な中間支援組織と連携しながら、人材、施設、情報等地域資源の再ネットワーク化を図ることを通じた、活動支援機能の一層の充実</li> <li>・県民交流広場の取り組みとの連携・支援</li> </ul>	21,737	県民政策部 生活創造課

加古川総合庁舎・東播磨生活創造センターの整備	生活創造センター構想をもとに、県民の主体的な活動を支援する東播磨生活創造センターを、加古川総合庁舎と一体的に総合庁舎の敷地において整備する。	・引き続き生活創造センター東播磨委員会において、効果的な施設配置の考え方を検討 ・基本設計、実施設計取りまとめ	・引き続き生活創造センター東播磨委員会の意見を聞きながら、事業展開のあり方等を検討 ・建設工事の着手	-	県民政策部生活創造課、東播磨県民局、東播磨生活科学センター、企画管理部管財課、県土整備部営繕課
ひょうごボランティアプラザの運営	「資料編－1 主な参画と協働施策の実施状況」を参照			108,692	県民政策部参画協働課

■総合的な生活創造支援拠点機能の充実にあたり、県民の立場に立って取り組みます

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成17年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H17事業費 (千円)	担当課
生活創造応援隊の設置	各文化会館等ごとにボランティアによる「生活創造応援隊」を20名ずつ設置し、生活創造情報プラザでの活動支援を行うとともに、学習機会、活動の場、グループ等の活動状況等地域における生活創造活動に関する情報を集め、「生活創造しんぶん」を発行、インターネットを通じた情報発信を行う。	・生活創造しんぶんの発行状況 T-Dream(但馬) ポケット淡路(淡路) ぐぐっと！北播磨(嬉野) 以上毎月 3,000部 PiPiN(神戸) 毎月 2,000部 ネットめばえ(西播磨) とうばんCha2(東播磨) 姫路生活科学センター(中播磨) 以上隔月 3,000部 たんば. COM(丹波) 2,000部、年2回	・県民交流広場の取り組みの情報収集・発信など「生活創造しんぶん」の一層の充実 ・様々な媒体を通じた情報発信 ・交流会を通じた登録グループのネットワーク化の促進など生活創造情報プラザでの活動支援	-	県民政策部生活創造課

□県民が評価するしくみを検討します

■交流のきっかけづくりや評価の手がかりにできるような活動報告書の作成など、さまざまな仕組みづくりに取り組みます

事業名	事業概要	参画・協働の実施状況 (平成17年度)	参画と協働の課題と 今後の取り組み方向	H17事業費 (千円)	担当課
地域づくり活動登録制度の運用(再掲)		-			県民政策部参画協働課
ひょうごボランティア活動支援ナビの運営(再掲)		-			県民政策部参画協働課